聖上畏

一御軫念

刻々の經過を御聽取

を 時の色白む気深い配りで

各方面

見無

| ことた海口首||被に膨脱性のことた海口首||被に膨脱性の

なほこの鞭幣原、松田、鈴木

が見舞った

夜を過ごした首相

なほ安議内閣と同車 意外の出来事で示 ちぬ、私の留守を示 もない、私の留守を示

側近者一同感泣す

後四時急遽帰京に殿り御

めて事色が溶んだ。

米國務長官

日

めて喜色浮ぶ

色は薄らぎ

のつた、既し政府は、江木鐡相も同

臨時首相代理設置の

決定に至る迄の經過

設置するに決定、本日中に左の如く任命ある筈 東京十五日發電通至急報》 十五日臨時閣議は内閣官制第八條により臨時總理大臣代理を

外務大臣男爵 幣

原

郎

臨時內閣總理大臣代理被仰付

幣原外相

設置する

とに決定

幣原外相親任され

けふ臨時閣議

八理を

走

燈

交後、結んでお

でるはな

さるものさいふべき他。すくなくさも神経の距離に千里の差あり、満濁里、震道網の痛苦、削り、満濁里、震道網の痛苦、削り、満濁里、震道網の痛苦、削り、満濁すし地、これ般感な

今夜發上京

總裁

の見舞か

高点いまだ悪きで、独成が の支那にありては全く日むな のさころ也。

なきを保せ ・時に蔵 践狗の 様へ現て自ら滅に掘った紹子を にあるを現てなりさ。若し我を にあるを現てなりさ。若し我を にあるを現てなりさ。若し我を にあるを現てなりさ。若し我を

土をして信を響せしの後車に動きつてはく、公は長者にいらす

む……ある人、傷に耽きて冠くむ……ある人、傷に耽きて冠と、味を怨。

に革命あり、また に、現在の安定 袋に、物んさ

哈市在留民

鬼号の用ゆべきあり、良狗に食がくの好く、高鳥なに並うす。 を鬼、容易に変を亡せずさせば、の

一端に事め

すべきか。莫代表、聡はざらいして然らば、南京以府の郷中出

東支鐵樞要地の

臨時閣議 窓見一致し際歌の短く決定なみた ありその次の幣原外相相は目下病氣静養中で 部議長及大演智地より無い帰京し 【ハルビン特電十四 內相等見

【東京十五日蒙電曲】十四日臨時 騰騰設會後江木山根、鈴木轍長、 熊幡接動扇長前江部大驅由外科に

大病院に能様を見舞つた

江木鐵相等

歌に呼の機能に表記され、 一時、特別語、出版のため年別十 一時、特別語、出版のため年別十 一時、特別語、出版のため年別十 一時、特別語、出版のため年別十 の他、宗られ

能大輔長出際,安選、概より天皇 (東京十五日景電通) 臨 職器(東京十五日景電通) 臨 職器(東京十五日景電通) 臨 職器(

柳對策を講究

歸京した安達内相談

程度、変んで組織地上で、特別協 以で総木伸減長を終て「毎下鸚島 はて総木伸減長を終て「毎下鸚島 はで総木伸減長を終て「毎下鸚島 奏なをふ ると旨を報告し鈴木輪 は安選内陸上が首相 観を 総念わらせら 鈴木館は安選内

宇斌隆様が上位なるも様中のためで江木類様より臨時首様代事際置でに依る時は 採中のため 時年東京・着山大田・大島連山 解表もたが内閣は トコスで、日口目引 を支出か 確定し、安 電影系を流布と財祭をで願せんで は上五日午前八 る考あるやも知れず取れにつき 電池 (海流なきを期せられ度いこのよ) 電 電池 (海流なきを期せられ度いこのよ) 電 電池 (海流なきを期せられ度いこのよ) 電 電池 (海流なきを期せられ度いこのよ) 電

小泉遞相閣議

に参列 滿鐵營業豫算會議

五日全部

終了

はるびん丸 十六

第二豫算の事業費は

總裁上京後決裁を求めん

▲井藤界志雄・〈緑護士〉同上

してあるのは、サロメテ 「現在、吾々の合宿に常

選ばれたる

最後のもの

正精解氏られが振り會議會議院

人心の動振。そんなことは經路 ・ なしる人心の緊切。 されること常然の成行さいはれば 際原外根が 窓時首根代理に任命 時膜炎さへ誘發せれば小配の要 大觀小觀 明 野心十四 川野歌で見郷の電報を制 る発車の用かなすさころがあったが満線の楽星度 (東) (本郷) である、衛本日午後の野歌では、いたので十五日午後九時世分(二 し終了せざる場合は十六日九時大十一時三十分) 景然谷にで眺慮が 着いたので十五日午後九時世分(二 し終了せざる場合は十六日九時大十一時三十分) 景然谷にて熊島郷 着にかける余都塩田の決郷が着いたので十五日午後の電徴 た、耐して辰電部長十河季事が観いたので十五日午後の電役 である、衛本日午後の電役 である、衛本日午後の電役 できまするこ でき 書標道見郷た敷れば路上京するこ でき 購買組合を恢復 ル局長建事會に通告

で 酸速なる手管

道場では盛に使用す

プリル

大阪田高工・一番高工・一番高工・一番の一番では、

せられ御菓子一折か願ったには潤日首相に野し御見録さ

皇太后陛下御見舞を賜ふ

田宮内慰を舵大麻院に御差遺わら

今朝五時

四日登電道王急報』溯山前根十一今朝二時【東京十五昨夜十時半 【東京 読養の観れはなくなった

首様は郷海政総で無難を続けて居

をはたす、呼吸すれ、時を咽喉が乾。 う足の不自由を誤へ「死人は撞まったか、人の腰に丸を撃ち込むさったが、人の腰に丸を撃ち込むさった。

て解脱小配はない、具気折が出されば観点な手能なしても腰るもの

午前十時 週』渡口首根午前十時の客

法藏兩相間の諒解成

王正彦、深和氏等の外融 は氏を

來議會提

里要決定事項

石八時の容骸を嗣山行幸中

图民政府要人 國家賠償法

代の礼様 知らんさしてるる 地蔵の報に禁地な別外交別に大センセーションを権起しいづれる事 ローマ各方面

こさわらばそれは黄に日本のみならず世界の横尖だ」さ述べ原に震

支那側の衝動

上程される不確實擔保內外債

內債八億、

外債十二億

北方派全部

永遠に除名

『南京十四日登電通』瀬日館標本名にて見郷の電線を養し、耕介成 名にて見郷の電線を養し、耕介で が、民、焼天代氏等も個人名義で の電線を養した。

借欵會議開會

北森と御教総の御極線に揺された庇む下に誘する御懐壁の程像近一局が戯被した物で、この間東京より大本整備の首様その後の修為刺繍につき修従より御熱心に御観取遊びされた、御好食後別塾に惨弾の無下郷蛇を御覧十時過ぎ御就遊びさった郷野神に帰帳した安遠に様に揺跡を解信られ、内様が通じて管様に繋ずる優遠なる何見郷の郷野神に伸帳した安遠に様に揺跡を解信られ、内様が通じて管様に繋ずる優遠なる何見郷の郷野神に伸帳した安遠に様に揺跡を解信られ、内様が通じて管様に繋する優遠なる何見郷の郷野神にはりの様に表している。

幣の語識で融った、

取締り訓電

連の歌な見激りな事報話には"存態」 をはじめ谷渉事概述に都談長 ないないが単版には"存態」 で内地に即つたが単版には"存態」 がなまりがりないかる丸が がなまればいかる丸が がなまればいが といればいが といれが といれが

まだちサロンで語る さに別府に行くつもりだ第ペも でに別府に行くつもりだ第ペも でに別府に行くつもりだ第ペも でに別府に行くつもりだ第ペも がまを實つたからまる別府の温 がまを實つたからまる別府の温 がまを言ってふるのだ、三 温間位居つて、を仕事の上の があるに行いるだちられ

師、は、あずの日曜と思か。 林板川の見か 各地の温度

口首相を

古學術視察隊 大連に來た

事業失敗後歸連し大統社に出入

紙育における 雄彦氏の話

日首根を建設した佐藤管領線が在達したこの既に非常なセンセイション建してゐるが、佐藤屋は昭日首根を建設した佐藤管領線が在達したこの既に非常なセンセイション建してゐるが、佐藤屋は昭立のからて越路を入の座職を抜いた吉田三郎に引奉されて同行者較十名と来述、蒙古學編載解除に常行のからて越路を入の座職を抜いた吉田三郎に引奉されて同行者較十名と来述、蒙古學編載解除に常行のからを受けて大統社等に出入してゐた。當時はまだ思想的性が、一年後の昭和三年十月ごを受けて大統社等に出入してゐた。當時はまだ思想的性がなど、大統立は昭田は昭田は一年後の昭和三年十月ごを受けて大統社等に出入してゐるが、佐藤屋は昭田は北京の一年後の昭和三年十月ごの一年後の昭和三年十月に 満洲で馬賊の群に 腹部や大

石大腿部に彈痕 彼杵村に仲居さして使いてるた女の丁事に從ひ常時長端縣東後杵郡 さ解係を結び夫婦さなり長鬼曜、

東京十五日登電油】十四日夜電 株の松脈に歌師に転めてぬた更子 充分覺悟日頃の教へ 夏子夫人のはなし

ものである

事があつても決して獲很する事 生パであるのであるから高一の 主人は僧に自分は一身な闘家に 人は語る

留雄は全く孤兒

朝鮮の義父のもさにゐたが

十九で東京に飛出す

の大林組上村開治さんの家に居駅各賓郡上津村学伊磐地三軒家は知りません。受観は今は三重

小學時代から

東京では榊原 剛で暴れ廻る

では、さころが動ケ月前より に他立て、行機をやらせ、暗峰では、で得た一個内外の金で生活。

警戒の院外團 警官隊と闖鬪 外相の自動車乗入れで を動に配出され継承市鉄塩低から をしてぬることが利用、十五日大 をしてぬることが利用、十五日大 をしてぬることが利用、十五日大 をしてぬることが利用、十五日大 校を付ませ行敵や数みた

のうへ來自廿八日までに決定し物一前から大正小學校に通学中の大意智総子後添謀本都で電地路査一定の職業なく徒食し、二、一大意智地及び参加部隊については、子を連れ城鉾から流れて來て、

総を続けていまく 性部に確るや 能人れ無素の松頭で兪状に繋る配 になると

の船

五千日ナップとデルトピックを愛 なら 手の歩れる

メバリ紙 メバリ紙 四四の行 を、ほかの一隻の角板が滑ぎよせた。 ほかの一隻の角板が滑ぎよせていた。 これらまた押 アレヨ (くこ云ふ即に移瞰に搬し
めか 南記殿 載さ画像の運動に関り
めか 南記殿 載さ画像の運動に関り

上五日排唆より未管省の大吹撃旅客機敏航 郷子高地方

え、時代東京緊
を、直に自動車で帝大病院に関ロ首様を見東京十五日景電通」間山から急遽帰京もた安遂丙様は午

快するやうに申し傳へて臭れ」さの有難き御腔がは「非常に頼の確なこさであつた。充分削騰して

主上に畏くも

大骨鷄献上

界京滿鐵支社から

御諚を傳達

「京城十五日登電池」 佐郷屋館庫

「京城十五日登電池」 佐郷屋館庫

一概の工夫さなり、三十年長職

にながらい美しく着幅つた観ながらの宮崎人はほんさうに続くなりましたお人形のやうに美しく着幅つた観ながりかたではありますが、それでも五百人に焼げられて昨年に地でるさ非常な被りかたではありますが、それでも五百人

七五二としに並

で宮詣

けさ歸京の安達内相

聖恩に首相感泣す

五千圓女給

に十分の難御金を存してあるさ棚に十分の難御金を存してある。 酸新紙幣の種類は百元 市職の情況が使に使って出すこと

小見科醫院

佐志醫院

滿洲 小型映畵撮影競技大會その他各種映畵の夕べを一週間開催 全滿洲映畵聯盟の 內外各映畵會社作品競映大會 納日講堂にお 明春 映畵 月大連で開催 いて映畵展覽會 創立發會式 週間

辯論に入る

小橋前文相の

及び玉耶、敷取の四校のリーケ戦 新漢を置きたる時大。工大麻原料 の進出は昨年の勝者器大量科を配置の表質及び あすのラ式戦 大連運動場で五つ

することになつた。 より大連運動場で開始されること 能統をほこる工大庫科も無難な融めの進出は昨年の勝者婦大庫科及び

野点響大學

映畵に闘する催物

主催

洲

日

報

社

(能の旅客神は総総のやむなきに至 ・ 映成も除雲斯だしきため同日報登 ・ 京

件に行商をやらせ 機等変つてある?と終れると「手をかり、だけどかまびません、お父とかいたがつてますから一度なります。……」そしてもう一座楽

二日目を開始することになった。

救助戎克が次 々に押流さる

市內秋月町十番地東子職人雖永文

結婚詐欺に掛る

待ちぼけ花婿

の仲昭を知るを強い者を施が蔵に殴って 神殿がが成の東北底に販売され続 一名の支那 日午前七時空ごろ素組一名の支那 れた見た他の無板が救助せんもの 不識に思い間夜 び安瀬歌歌(唐榕柳六十副)を送

病妻を顧みず情婦狂ひ

殿られるを恐さに息子が盗み

世にも無情な父親

数件の容姿を観き、

が規則し前くなつて小蔵子響へ振で始めて結婚的数にかりつたこと

新紙幣發行 東三省官銀號

各

築協會

(

時中より春日町大穂寺において法をは長澄田県松氏器堂は本月十日郷地長澄田県松氏器堂は本月十日郷

U 文書偽造詐欺の惡事 愛する故に鞭打つ父を逆か恨み

刑務所入りを志願

五百圓節受け物質の報 父の質明を飲み出し

人は市内東所居 人は市内東所居

軍

手

蝉奥

賣金

山麓

び泣く如の歌

さころ、文は「不孝殿の歌したことはからの」を接縁とれので、地ではからの」を接縁したので、地ではないなが、 を したものである **

クターの間べ









型防寒靴・オーバシユース・廉價提供 大好評…早くも第一回入荷賣切れ第二回新着荷 斷然! 从交上的一 图 均 一十五以上二 图 均 一 成四十錢 均一 公文生的七十錢均一 場の 追從を許さめ新底値提供 大率 仕 ************ ム長 大山通 永 記洋 電話三六五六番 行



囪

5

四話電

原で使ってゐる機械 でではから、第三番目の板権階については対しません。これは を資金が多くいするので一般には ででである。第二番目の板権階には 満線の幹部の方 ければならわかさ云ふこさが許 郷機な奥へ買り一

れてゐるが概本 を発味するのは、

本東短母母 本東短母母 大阪:物 大阪:物 大阪:物 大阪:物 大阪:物 大阪:物 大阪:物 大阪・物 大阪・物 大阪・物

大 月月月月月月月 先當 戸 花

二一月月月月月

大豆

麻袋保合

綿糸昻騰

流(平图出)

のならば安

二二二二二 仙仙仙仙仙仙 〇八七四二二 五七〇五六〇〇

度 麻 袋 三十省比八分五 第一三八省比八分五 第一三八省比四分一 第一三八省比四分一 4六、四三国

800

殷銀行業務確實に御取扱可申報

電話を図りたのでは

●0-01話電

>株式s御販引#山田へ

田商店株式

部

把借介于们实市建大 ニイカンレイタ客信受 **●**れた一大を作詞を をここ回回場形

施 安値 大引 (120 元 120 元 1

を持ち、 のには、 のには、

十一月十五日限 定期。受済 は代金五百服石品が期と渡高は たっ如く棒が敷。豆十枚、この 建代金五百服石品が期と渡高は たっ如く棒が敷。豆十枚、この 建代金五百服石品が期と渡高は たっかく棒が敷。豆十枚、この はたっかく種が敷。豆十枚、この はたっかくをがらた (ほう) 脚は五〇 へ外4二〇 (とう) 脚は五〇 (とう) 脚は五〇

000 \$ 000.



TOKUTAICO。、上TD
公信、大連市山縣通気を養養を表している。
「こと、特別では、一般のでは、 圖 大連商業銀行 大連市西通(排込濟)

何でも御川命下さい ジャパン・ツーリスト・ビュロジャパン・ツーリスト・ビュロ

金金定期大連之景線 金金定期大連之景線 金金定期大連立和東町三〇 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 | 高橋汽船大連出帆

取級店 九二一商會專屬客荷 九二一商會

奥地市況

東京株 11至20 1

世日清汽船數出訊 年前九時出朝 華山東土丹至日代 學 店 大阪商船株試大連支店 大阪商船株試大連支店 東屬荷摄原(大連市山縣通) 專屬荷摄原(大連市山縣通)

|| 日本郵船出 帆

五品株落札

十七日取引再開

十二国六十銭で

の五品株定期の配を解じ中ふさ共に同日前場より置質中

日間)の取引を開始するさ

とのポルマン

うあつで飲

型 ギーセン 一七九〇 出来高 一萬三千枚 豆 油 一八五〇 一八五〇 一八五〇 三 栗 三七四〇 三七四〇 出来高(上モノ)一車 個 米 出来不申

定期喰合高(古山根人) 定期喰合高(古山根人) 高架 四〇四九半 五一車 高架 一一二九半 二 一十二九半 二 一十二九十 二 一十二十枚 1二〇千箱 日流 一七八〇百箱台三四 百箱

紗票弱係で

弱含

*

米

高を眺めたもので酸四は大したもれた見は黒魔を辿つたが果に奥地

であるもの、ようで知識三 一様で場面は平満時 であった▲大橋マパラ

大新株、

がいれる、 俗新地震



部険

御 米國務長官の 叫見舞品 力御名代御差遣 よい

見無り御松子がを騒っこことなっまり御名代さして病院に親く前機を開かれ認識の結果東大神宮の御名代さして病院に親く前機を下る神名では、して病院に親く前機を下る神名の神経をが、監事を行った。 見舞

會の池

支那紙の同情

責任は私で

八債整理會議

四日發電通一國際職 各地でも平穏

は人さ 安定を職るべき目の職電を養した。 は、余等 総合があった 安定を職るべき目の職電を養した。 ・ 余等 総合があった

へ流言素語を説ち財衆帯観な が長電に難ら電根の。 艇を機 が長電に難ら電根の。 艇を機

思家奏事は譲るが十四日二十時機列車で

明年度の

では女が日本

大阪三品引安

商品

當市も軟弱

でく北道のダンスホール、に無限のエロール、に無限のエロール、に無限のエロール、に無限のエロールを対象の要がのであると、ないではれて来たので

東京市日本福高岩田町芸

叉那側の具體案

三十年で全部を償還

部下にはない

丸山警視總監の談

六百六十萬

四月景電通一確認するに 三分乃至四分を養行し 三分乃至四分を養行し に動しては新整理公債 に於て異論ある機構で具に変形を成 に於て異論が、 明年度の業界の景況等を職富し駅 これたが、その登録を書館の結果。 これたが、その登録を書館の結果。

一派があつて計

神戸特

産

市場電報

THE DESCRIPTION OF THE PERSON OF THE PERSON

具選馬產兒制度 各姓島制限 種器式 種器式

部田

相談ニテモ往診教

三地名の東田千代鶴の

重役會議を開く

仙石總裁の上京延期

に非常に無か縮い

後六匹既より解釈理事より恣窓が行はれ、第二聚態要求の分は

は 大学の意味は冷暖の現状から見て此る。 変に説明をなすさころありもも大概を 後六年頃より神観理事よりは引着

東支新換算率

内地ボケ模様

弱含

一門十銭安さばケた

市

况个五岁

京林大俣町

衞生工事の御用命は 側は ……解屋へ

石

機械三五〇二番

六七七六鐘 七一一八 八五五五新 ぜんそく治療 # 松尾虹リ ■話九四七八章

本業で、保留されてるた第二機繁 (ベルビン特置十五日製) 東殿の 内含む) 郷景さも全部決定級です。 地方の影響であったが、開紅監秘の職師が 総合大伴の機繁がは本月十日から大 使されてるるので概要は十五日夜 一金僧が一元六角九分で直通連桁が、十六日標の総存で出資の職部 に支援ふ機繁は一金賀1二三元でか、十六日標の総存で出資の職部 に支援ふ機繁は一金賀1二三元でか、十六日標の総合部を清新館に カルによる貨幣を送ば特値を設置を開始を設置した。 またのでは、本月十日から であった上京を見合せ十六日は午 共変五年四分をである。 他のてロ 東の町役合語を開催することにな きたんどことが

見舞状の英國政府より

でれくらねに見て応るか、 存委員会の要表類字を駆けて見る 成立期日 情歌名 告款額 に、三、一種軍部半端

ペデベ 湯

11,00十四

送炭制限の話は

●新(清 天' 新東(清 1001° 0 新東(清 1001° 0

うまく解決した

一八五、一四一層の影響衛軍大

三二、九〇二元

の「三四二四

とて悪なれ い方に向つてるることも非常に依郷のため 度と來なくても好い様に新が好

一齊軟調

(五四二)圖

八五、八二七四

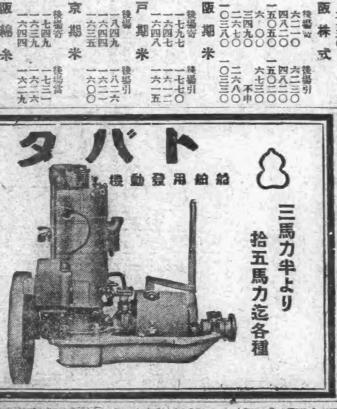
七八、七七一回一三八、二八五回

具體案

東京で交渉

公二、六五七圓 鏡側さざう

五、九二七四



まれは特徴に続て逃べることにもよれば特徴に続て逃べることにもなって居ると降いて居る。 その他に問題とすべきは消鏡の はは特徴を開放であるが、こ

理のよう

滿鮮直通事務 一院登念行にて上京の後につ

打合會議代表 十四日夜歸運

領事館を縮小

マは駆使するが付は、旅政職の指標。 マは駆に大十ケ所の観事館を縮水 では更に大十ケ所の観事館を縮水。ロシ では要に大十ケ所の観事館を縮水。

財界への影響

る うな時代の実験に か二人完成 が二人完成 が二人での が二人での が二人での が二人での が二人でいる。 が二人でいる。 が二人でいる。 が二人でいる。 が二人でいる。 が一のできる。 が一のでも。 は一のでも。 は一のでも。 は一のでも。 は一でも。 は一

砂票弱舎

大同(標数)五九五〇五九〇〇 大同(標数) 出來不申 其可(標数) 出來不申 其中 (標数) 出來不申 其中 (標数) 出來不申 其中 (標数) 出來不申 日本高 一英四千枚 日本高 一英四千枚 日本高 一英四千枚 日本高 一年五百箱 梁 出來不申

国中郷のために常信さして 編内美常競群 (庭部書項) にー ○現物後場〈銀建〉

フスの課防に

のさ鎌根されてゐる

ないのです。われくとしては、か、さびしいさか、おもしろいさか、おもしろいさ 童話とレコー みんなのやうな小さな

Ž 望 す

家行飛戸門の は ●に速は年少青るすさんせ雄飛へ界行飛●

るせ成完に元の接後界行飛全國我 よれらせ備準りよに録義講本

> 及毛な機には新毛を生すったとなった。 をが脱ける雲脂がワク をが脱ける雲脂がワク をでは、一般には新毛を生す。 いらんフケ止者本を

> > 急り

婚儀

用

묘

3

物

容

見

本



帝國航空教育會 龍門谷里八八七·摄管東京七九六三二 電話四谷里八八七·摄管東京七九六三二

千葉羅律田沼、

是 くなる ^{特照}金州澤庵賣出

第一种 行

1 勉 せ鍋、すき 强 有性料理 浪 0 人前 親 T 五 速

米穀商◆ 大連市岩鉄町は 志 13 洋野

\$

10

電話五四〇九番

是非御用命の程を 浮山参りました 化粧品物 速町

りが、意話の姿(世界)となる

日 十 常さまがたのお待ち點の「家師さ 中 コードの會」がいよく~本日午 前十時から滿日の離堂で開かれま 一 手なだです、此の三人で三人さも大へんお認の上 からら」さ一生感命瞳からでごんなに臓台の中離新一般生活がいったら」さ一生感命瞳からでさんなにがいから、ごんなに臓台の中離新一般生活がいったが、これなに臓台いかりかり おかり しょう アール はいかり かい こう アール はいから、ごんなに臓台いから、ごんなに臓台いから、こうなに臓台ので さん かい かい こう アール はいから、こう という にいから、こう という にいからい こう にいからい こう にいからい こう にいからい こう という にいからい こう にいから こう にいからい こう にいい こう にいからい こう にいかい こう にいからい こう にいい こ

が人場をおこさわりいたします。 が人場をおこさわりいたします。 が人場をおこさわりいたします。 で 人場が出來ませんからあらかじめ けおおみを願びます。

お祖母さ

の に埋めて身を震はすさ、お祖母さんの路に埋めて身を震はすさ、お祖母さんの胸にする、お祖母さんの胸に

聞い

て頂きた

ちく

つろ

午前十時から滿日講堂で

童話と

そんでぬます。それを心の日できいてぬま ら、質は、その姿を瞬めてゐるこです。ですから、文字をよみなが にむかふやうな味かなき

そればかりはじてゐます。 いみんなお友だち な生き物たちな

へ、そればかり念じてゐます。そればかり念じてゐます。そ そうの電話のほんさ

1

お床の中から

「さあお祖母さんも城やの好きながごろたんこつこ、ごろたんこつこ、ごろたんこつこれですな機

生机

ました

大連軍話會 倉井

れんれするんですよ、れ、よい子は育ら、お姉妹は子供の天間さはだから、ほうら群れ、よいお続きなったさ…… お話の中にお顔母さんの瀕が坊がら、ほうら群れ、よいお続きなったのです。

お話の好きな子供は

なしくおほぜいの前でお話をしてなかった、こんど大理童話會が動でなったのは話を聞くとの好きなこざもたちにこつて農誕で配かれるやうはあなたがたにお話を聞くとの好きないまで第一回に選ばれた秘達。 なま手にやるかさいふこさよりも、なま手にやるかさいふこさよりも、ない。

偉く

なりま

清水德

ごぎばなしは

1446

H

お姉近はお味の中から生れ、お

謠

の語や、色々不思いなで、場所蔵のお話や、窓い代育の話や、忠い代育の話や、忠い既蔵

つて関ってほんさうにのんびりきしうれる

の蔭にかく

れた

童話の魂

んはお話が御好きでせずり

英國のシエキスピアさ

なさんたちじなっています。電影に「家」にしています。電影に「家」に、「放送」のやうには、ない、まづ第一です。 星あかりする空ル飛んでい

ハカキで申込次第 合員には飛行機に塔乗せ

成する我國唯一のもの、 を取り、六ケ月の短期日 士や航空學者が親切に筆 講師は有名なる一等飛行 に二年飛行士の實力を養

智惠 を丈夫に育てる質に製造した理想の受養品を丈夫に育てる質に製造した理想の受養品を大夫に育てる質に製造した理想の受養品 ラクトーゲンは赤坊や競賣船りの子供さら勝て行く事が六ケ敷しら御座のますとの様々な観音をして居らなければ勉强に小學校へ適ふ頃までには身体も頭腦も担 舞融 壁類は――祭 カルシウェ分は――― 2 P 6 れば勉强に打 せ



は正に青少年活躍の新舞臺、今や國家の結果漸く完成せる飛行家養成講義錄我全飛行界後援の元に、二ケ年間研究

遞信次官 中野一陸軍中將 長 岡

正剛閣下

C

(長岡開下ノ総頭宮ニ示サレタ帆筆ヲ見ラレヨ)を願って止まない。

人でも多くの飛行家の出でんこと

一・度しい

母

國の

初冬

所につき

「なってあるが、その 生は

「大子人名であるが、その 生は

「大子人名であるが、その では

「大子人名であるが、その であるが、その 奉天中等學校取調べ

年

大文 高等學校の四年十二名、五年 二名合計廿四名となってる、 二名合計廿四名となってる、 二名合計廿四名となってる、 二名できれてる。五年 一名できれている。 二名では1四年六名、五年 に二名さなってるる、そも に二名さなってるる。 でその他は各種専門学校へ でその他は各種専門学校へ でその他は各種専門学校へ

酸性を帯びたものである

炭礦町豫算

二千百萬圓

達をなし味に大學、專 学である 学である 学である 殊に人學、東現況にめざら

一三日夜安奉線爬由日本へ十三日夜安奉線にて來奉 町のニユース

内親は病死し

残るは姉と妹

一家の整理、家督者もなく

兄の行方捜査願ひ

此の程順東された在郷単人後援会 を でする、 等級子各管内、 紫天館 でこの太陽外三種上映 でこの太陽外三種上映 の石橋經神課長、津旭楽覧芸伝ー六年度豫章電話の鑑かれて出連中 行は十四日八時十分階略無したが

たので十五日から通行を開始したよに通ずる地下遺は十四日完成し ち保育研究會を開いた

關係方面を招き

の数年の十二月病重り手厚い意識 まり勝が無対の顕河局に居る事がも対なく他発した。その後人等に

杖柱ご しない父親して

のほよと受け十四日 管護所収合會出席のため

低資問題を傳達

滿鐵に對して感謝電

に選が様式の一世界後の一世界では、 ・は経動的のものでなく影響をの他の総 は経動的のものでなく影響が六年度出版能量 は経動的のものでなく影響が六年度出版能量 は経動のものでなく影響が六年度出版能量 が根数のものでなく影響の信息を が表現である低し起

東四條通に痴漢 流言さかんなる折り 一般の不安つのる

(日曜日)

た、後に愛された姉妹親 大を飛び出し行方を晦ましたころ、勝も とでであまり一氏節博し

ではかば、人だけ一家を 型ではかがるないため繁華も を関すゆつてゐるから一度から のではないため、では、人だけ一家を

長の手まで煩ばし

無順の表支關

順

撫順驛新築

六年度豫算に計上し

解永早々工事に着手

て撃安器権時代を現出してゐる抗 内界四條四十七番地の二、丸山内壁紋単位擬養さの流置悲語盛にも 焼に帰安銀行事性が突養した、市壁紋単近乃至東郷へ行く道等々で の東四條道二十七、二十九番地店

たか 特に鎖魔したのであった、此の影 だか、生母の髪、之が真の髪か、 吉 はして居れて、心は名古屋に随つ か、干々に思ひを走せた事であら り臓 概事健康で卑嫉老母は同日午後五 か、即分は一體ごうすればよいの り臓 概事健康で卑嫉老母は同日午後五 か、即分は一體ごうすればよいの り酸 成事健康で卑嫉老母は同日午後五 か、即分は一體ごうすればよいの 質 はして居れて、心は名古屋に随つ か、干々に思ひを走せた事であら りでは 世間いのだらうさ一般の間もどつさ れて東苦髪をする其の苦痛に堪へ はして居れて、心は名古屋の髪や かれた正記少年、彼の能をからは はして居れて、心は名古屋の髪や かれた正記少年、彼の能をからは はして居れて、心は名古屋の髪や かれた正記少年、彼の能をからは はして居れて、心は名古屋の髪や かれた正記少年、彼の能を手握きしてゐたので した の事のみで一杯であった、待ち長

安

四

の世話になった人々へ、慰謝へ? 数さない手紙を書き

密賣買取締り

最後の好意

交那軍服着用の

築島次長談

吉

点子にて

を協議した事は既報の通

午一月二十一日よ せになった 駅る窓會は時間を經胱酸守ず 脚始したがそれな切掛けに戦 東 面 治氏は目黒教師管局十九日來途。

日支學生の 心からの親睦會 けふ先づ家政女學校生徒が

中國女子師範を訪れ

くさころによれば十二日までに下 を設けるの郷船をするこさになっくさころによれば十二日までに下 を設けるの郷船をするこさになった艦にては四十車、欅か殿にだは 常見氏離吉 雷地繋が公 常見氏離古 雷地繋が公 常見氏離古 雷地繋が公 常見氏離古 雷地繋が公 第月氏離古 雷地繋が公 して今共等診験がに就て職品の準備等につきそれが(の変域、獣なっちが、本年は特に孤って機が決定したる外、髪加酸店とであるが、本年は特に孤った郷か決定したる外、髪加酸店の大顔洗りまするとの動談、日支を方館への電戦、獣なったが、本年は特に孤った郷か決定したる外、髪加酸店の大頭混合保管は十一月 カニーカー サニナル日次の九日間とすることを 吉長鐵路の 吉林商店聯盟 大豆混合保管 孤店子で廿日から開始 月 り二十九日迄の九日間でするころ 一、領品に常てる金額を増加も一

で、十二日夜在留一部官民からたので、同氏は先づ九日で、十二日夜在留一部官民が1000変をのため名古屋館に続て送院の変をのため名古屋館に続て送院の変をのため名古屋館に続て送院の変をのため名古屋館に成て送院の変をのためる古屋館に成て送院の変をのため、1000年間では、1000年には、10 日 世職共の他の性を協議すさ ・ 世職共の他の性を協議する ・ 世職共の他の性を協議する ・ 世職共の他の性を協議する ・ 世職共の他の性を協議する ・ 世職共の他の性を協議する ・ 世職共の他の性を協議する 中緊痛河方能に高機出級とた中緊痛河方能に高機出級とたが十四日渡邊郡長一行が途 輸組臨時總會 大木範士來遼 鮮人狀況視察

場合の概見かれら新聞園館者共の場合の概見かれら新聞園館者共の参照と新聞館の手間と裏鑑の手の機関の手間と裏鑑の手の機関の側が含む 局員慰安會

入戸野家不幸 遠端を町り清線を院に入院中の単十四日死のたえて。シの職人は脚チプスに鑑り清線を院に入院中の単十四日死の

一日午前零時頃田黙鑑老編の戦人白義曜方に支那軍服で渡三名各自歩兵銃を携帯 二人組强盜 十三戸の鮮人宅に闖入 白晝强盜通行 人を襲ふ

場に総行し犯人機管に努めて 場に総行し犯人機管に努めて 場に総行し犯人機管に努めて 場に総行し犯人機管に努めて に原付の総人十三月 職人も 静殿館を通行中長さ一尺五寸絵の 大交照布配其他を強勢速走し 参歌館を通行中長さ一尺五寸絵の た交照布配其他を強勢速走し 参歌館を通行中長さ一尺五寸絵の た支照他の総人十三月 職人も 静殿館を通行中長さ一尺五寸絵の た支照側と繋にては急報に依り直 た支那側と察にては急報に依り直 た支那側と察にては急報に依り直 た支那側と察にては急報に依り直 たってもので、できるも犯人は楽都に なるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなり直

大和小學校

一、辨當を持つて來たもの 一、辨當を食べぬもの 一、不足するさ思ふもの 一、不足するさ思ふもの 一、が少食のもの とするさ思ふもの 度よいさ思ふもの と食のもの 陽

小便の病 膀胱加答兒,其他 爤

有タタパコ店にあり 労價納三百本入 …… 飲拾銭 同仁公司

「多パコ」は有益に安心して 愉快に御上りドさい 先づ御試用か! で時相悪なる類似品あり で時相悪なる類似品あり たばまり味では 清凉松葉 特許野間式ストーブ

型治 理治 任 任薬(上質験引替に こかは別府林楽舞

酌婦花代全廢

メライート がまり できまれる ない アンフト はまれる ない できまれる ない できまれる 雑類ルル製

是要OI# 店

森運着

御酒席に限り花代申受す

話四三

旅順唯一の食道樂つばみを

チリ鍋

すき焼

きは可成りあるらしい。 近く大樹 郷ある智 會話を残べまた同僚

を選に肥人連帯に至らなか が、特上順形事香取巡査を 対、特上順形事香取巡査を 対、特上順形事香取巡査を 陰関東軍司令部高木中佐一行は十大師ぎをやった▲召集事務機関の

を見を養へ

うのに

燒塞し

御人前 金干 3

金十十级

3

定

段

食道樂

量ば二人

ーみ

職には総統が至、阿片等の場所は邀賜総督場 鮮人女給 鮮鐵側反對 安東側の提

本和ぐべしこの安東振気に戦の 職者野連教打合食は同難遺脈を別したが、同抗合食振気車項中興味を以て見られて居た釜山―野大直通州の安東本を和ぐべしこの安東振気に戦の職となって見られて居た釜山―野大直通州の東京を別したが、同抗合食振気車項中興味を以下、三限日開機追転を課題したが、同抗合食は同難遺脈を深見した。 業職の

(田曹を上ぐ) 軍主教育元 里、江橋物制な造所・もつ職業でもします。 電話東四二〇六番 もつ職業でもします。

東

京丸石の

リーフ號自轉車 ギセイ號自轉車

月賦販賣の御相談に應じます

田村商會旅順支店

京日米のリ

所に製造家を募る

安くて輕くて丈夫な代表車

壽

司

食

名古屋鈴木の

連 帝 洋養先後働會部等心を使しています。

で全日他店で御比例の上何本御用命員上ます。 を器の優雅── 制理人技量 で達の速か で達の速か

保健上から お辨當調査

世界に誇り得る

1

大連

浪華洋

行

回英國製作

買會開始

詳細御一報次第項品持**等**占

量外

山

さなして居るが、その項目は左の 機能数を作り見重の整要上の影響。 機能数を作り見重の整要上の影響。 大和小學校に成ては見重の保護上 修了前に服んで

外山洋行特製(化粧用)

トヤマ石鹼生打函入 金七 +

青葉町の 山 錢

麗三 行

進物用祝菓子、

赤飯祝餅

桃太郎特製のカステーラ饅頭

電話六七二番の桃太郎へ御用命の程を

京子色々取揃へて居ります多少に不拘

たまする場合 ときずる場合 人名義變更せんさする の建物を他に譲渡せん 第三條手が 第二期 自为月二日至十二月十 期 自一月十六日至三月末 科研究科の修業年限は各一 で 定の各科な修業もたる 環
許雪を授集す 編物、料理、生花等 の各科を普通科及研

第七條 家庭研究所に左の所員な 金

二三世は

・ 十三日午後零時過ぎ管内三瀬県 版 一 目信後さして自分について 一 展 5二人の坂やら、其他料理番や って買取してして てはるる

勤勞を犒ふ

ものかか破死するので に、一つ味に散のむつ

一あんた、 にして独し出すわけのものが

第十四條 會計備付のミシンを使用する場合は一豪につき一ケ月

更を被称した5十八日午後七時よの世界終ソアラノ名当が沖銀子が 開駅前年駅にては終済液気は瞬中

永井郁子女史

獨唱會は十八日

記合つてもるが、ラしたが感んに一大キンキーションを興へた、 各官殿が配は個東殿外事職から返 での生徒が変んた。

ち、徹底の持ちものさしても、徹底のもいことださは思

はなり

態身動人な空む台

から高たはどめたのである。 なんぶりでの、しから変には、それでなくさも、すいて居では、それでなくさも、すいて居でなってきてその変はさくに対

北京西 総に逃げるのが こゝにある金を全部 持つて、山東が山西 まつてゐるのはいや なけらなるかつくい

けは人をつけて依然富安政 かのものは水蜒にやつたが あたのさで、別る、に恐び あたのさで、別る、に恐び あたのさで、別る、に恐び りで除ってあらつしたんです あたしさあんたさは あたしさあんたさは いるすぎいないの あのゆつくりれ

日案内

白帆

る粧紙は

整紙 岐良の三島紙 岐良の三島紙

● 六九● 五拾拾 回线圆线线线

日陸町 さ

こさはなて居られん、肺臓が落ち 二人で それからにしませ 優したな 000000 1 五行回回 · 十五行回回 · 十五日回 · 十日回 · 十日回 · 十日日回 · 十日回 · 十

番です

金三拾銀增

女給 信義町ギンネコカフエー管裁町ギンネコカフエー 入用山縣道三八番地新開

電 電話は 五

牛乳 パタークリーム 電話四五三七番 五球ニュー ニチロパン 牛乳 時計に関すなら 1 日実通 日報洋行 (次月 州) 電話七六八九〇番 記話七六八九〇番 日報洋行 電話六一三四番

濟生醫院 皮膚 疾 (絲











李 信 會

1 古市運送店

各地行一般荷物、引越 簡別車を是非御利用 を地行一般荷物、引越 を地行一般荷物、引越

デステムパー 花犬病 機防注射施行入院質 機防注射施行入院質

ラヂウム盗灸治療器

クサ 及胎毒の特効患有まず 大連劇場隣根本業局電七八六二 大連劇場隣根本業局電七八六二 大連劇場隣根本業局電七八六二 須町一番地電車停留所前電話二二三八七番 贈院 電話八二〇三番 話三〇四九番

神經 痛根治薬あります

女間 閉靜日當眺望良

大黒町一二四七岁 と治療 **孫**

別 存 治 体 別 存 治 体 は胃型障害なき名 要 他 お試 し下さ よ 共効能の顕著なるか を ま 共効能の顕著なるか を ま 大連市監部 亜東螺町 角

電腦業亦松運送店

引越荷物

耐人に

ラヂ

事さなった超めしファンの歌歌を際し感音を観むる事であらう 中より地が事務所會勝至に於て座開院背年既にては十五日午後六時 (四十八) 不不死老

もう二三杯のんでよ。 対象がない とう二三杯のんでよっとおすごしなさよ。 しき 〇〇〇〇〇〇のよ。 さあ

鮮人農民協會

崩壊の運命

在留鮮人等漸く醒む

まる十日午後九時頃大屯南方三支 ・変別氏の前幹部を隠け金腕強一 と変別氏の前幹部を隠け金腕強一 と変別氏の前幹部を隠け金腕強一

開原局員慰安會

枝

次朗書

停奴や、

一般さして、二人きりの部 神早くから仕事があるから

强奪逃走

家人を傷け

ものかさも見られ、目下覚妊子院別島野狭磐で閲覧の耳側を附して

歌殿歌殿局にては十六日午後三時歌殿歌殿殿殿の通り公會堂に於て局以 まり脱戦の通り公會堂に於て局以 を大きな、震戦主他 津山に局点諸氏の秘熱を上蔵する 大木、目黑柔道敷師 でき、肌を光ひ、顔を磨き ない、これは毎日料理部屋 が記さされ、自分も氏に 要の脱氏は鬼族歌大戦。 の兄が魁は身から出た鍼 の兄が魁は身から出た鍼 りついし、烈び重かこの頭の夜を 一般日の夕が、歌歌は振歌して でのであった。 ではのであった。

0000、町房・暦を口にふくみ 数の000000、野もまた女の000 0000か、男もまた女の000

新築山吹町三二

貸家

就寢中の

母子を惨殺

犯人を嚴探

武道試合

日午前十一時二十九分愛列車にて出意社低 際清磯俱樂部道場に旅て一般に深った。日黙清陽師は来る二十六日來 霜鳥氏出發赴任 郷房 があって 就でいた好所 同じっているの地で、 で火を必要の で大きの地で、 で大きの地で、 で大きの地で、 で大きの地で、 はづみに妻の酸を見る時 れないのである。 の家に居るので、ひょ れ、それでも生への さう夫人は郷されて落場する。これはいけないで思ったので捨場になって官軍中に突撃したが、官事 これには夫人の法卿をたのみさしてについて管軍を攻撃したのさ、み 「いやだうもひざい目にあつた。 あたが、それがごうしたこさやら

では、 でごほし溜さ○○こで野かせめぬ でごほし溜さ○○こで野かせめぬ でごほし溜さ○○こで野かせめぬ なごほし溜さ○○こで野かせめぬ いたので、滞石の発寒酸も、今は

麥精

三二〇九番

家館

お灸

明五丁目二〇一番地

野藤 病ハリ、キュー 鈴木丈太郎 電話四六九二番

蕃音器

モミ・煉治御望みの方は

八八番へ

一時間修繕

チチモミニ専門六〇二番

前向を暖眺望良櫻花台ア

まる九日夜頭城子第二字路衛内居 ・対金は手斧を以て前線部を割られ ・対金は手斧を以て前線部を割られ ・対金は手斧を以て前線部を割られ

繁年の低微に依る全職職合軍禁犯 本等地職店に脱て同試合に柔道に 本等地職店に脱て同試合に柔道に は大脱せるも細道には大脱せるため は是非警軽すべく毎日猛練智

旅の跳なく熟睡コ酸はれたものら もいさ、他人は実明もないが、別 いまに来答用・床がのべられてあり の品であるため知人か

大や騒さ同じなといくなったがいはる一大事で、

がよいざい で属った標に であった標に

に続てゐる姿を見るさいざれて、〇〇のつかれ

貸家

室で庭園附賃七五四

一七番上八、六、四牛、地、

鈴木丈太郎 電話四六九二番

電話四六九二番

葉は ヒシカワ薬局

な動物の様な男に今ま

登家

て、解びは一時に發

貸家

丸田獸醫轉任

民協會も斯くもて膨大崩壊の運命とも動に裏証標製が極めてるたと

爾皮病院に審音機シコード、基盤、同石、パレーボール具、懲器、同石、パレーボール具、懲器、同石、パレーボール具、懲器、同石、パエキー、守備隊に変見領、テニス用具、アケート、将棋盤、同局、整条下に全二十七個

無錢遊興二人

火葬場の成績

を行ったが一勝なも得不逃走もたっないので確然の目的で駆行した。一大連に銃器も居り無月沖雪の送金 雷地野祭器観察丸田剛彦氏は今回戦は同家の二般が燃口に、三般が 大胆に参称し十五日午前八時三十を行ったが一勝なも得不逃走もたった。 大正十五年より昭和五年三月迄に大正十五年より昭和五年三月迄に東東大は男女を合し總計六百五十三名で繋は三百三十七名、女は三百十六名であるが年別にするさ十五年十六名であるが年別にするさ十五年より昭和五年三月迄に

がって強うからで出

の快美をあどわつたつかれに果然 自分もいやさは思ひながら〇〇〇

くはその顕物館な變すが持ちにもなるのであつた

譲店

電七九七五

印書

大連西通 吉田代書事務所

、印刷と寓真し

通勤家政婦 (標準知)一日一圓 (標準知)一日一圓

古金

会議八二二六十、

名剌

山通(日本橋際) 吉一本が出来ます

東京 大山流(日本城際) 吉 野 號 大山流(日本城際) 吉 野 號

洋服類奮蝦

らいで親かさりなほし、そつさい 屋の戸か開け料理部屋にものびゆ

實印

の御用命は

し遊は一生遊げるこさは一世遊げるこさは

件

印書第三年をタイ

日本タイプライター印書和文タイプライター印書和文タイプライター印書

楽尼神師はるな

で自分の直操を弄てあるば

きかけて足げにしてや

地方事務所より注意 家畜の屠殺數

除除兵に講習

大石橋

土地貸付の違反

瓦

房

店

嚴重取締る

中四頭、羊、山羊七八七頭、馬二〇頭、欄二八頭、鶴一四七頭で豚 は一一、四四三頭を鎖し線破一

章部長以下八名にていって調査を為了正 ・ 一章を開きたいでは、 ・ 一章を表していっているとは十五日 ・ 一章を表していっているとは十五日 ・ 一章を表していっているとは十五日 ・ 一章を表していっているとは十五日 ・ 一章を表していっているとは十五日 ・ 一章を表していっているとは十五日

わなたはそこにある大きな

さいわさいあい

尺八 明暗流尺八教授 信義町市場前 電五二

電五二九三番

何なそんなにびく

算盤の御用命は

野は死んだ様に騒

天帆高級純生流分使紙は

で、ほか

等機能の場合

學、事務助手、講師、番人、

事の命を承げ所 事の命を承げ所 事の命を承げ所

婦殷は、さても一人で居 もなれば、したはしく 何んさいつても自分 は下僕さして誰い

た。こうこうその縁になり、それとでに見販し惚れた女には勝てなかつ あたし郷は明後日にでも出

女給

フョウラ アピス町 ウ品

電話と金融

36

宿 料 消 利 智字

電八六七五番

専門のヤナギヤ? 蓄音器修繕は

大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個、第一大概四個

な家 高病

一般マツサージ

製造=運搬=通關=製造=運搬=可障に取扱ひ致します



新家庭日記

宮內省御用達 會株 社式

後六時の容態は

鱈を放流して

不景氣で

棲息狀態を調査

昨夕の容態

二日下旬鑑潔」は直に撮緩の場所年月日等をなすべく本「標識が附されてあるので、 慶尙南道廳にて

新電では今度を期に入つた関係が 型度することとなったが、勢に電 車は第十一系統さも。思維、変響は 本内の電車・十一月十六日より車 り電車及バスの運転系統、運輸は 車は第十一系統さも。思維、火火 車は第十一系統さも。思維、火火 をでは他の系統に同車の運 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 にと四銭の料金を三銭に他下げ勢 大連、旅順間、ス、初後平前八 にと四銭の料金を三銭に他下が勢 料で三銭 にかまる。 は休止、従来の初数も時にを対してある が発工車内でも普通星乗車窓を にないまる。 は休止、従来の初数も時にを対してある にないまる。 にないまる。 は休止、従来の初数も時にを対していまる。 にはいまる。 にはいまる。 にはいまる。 といまる。 にはいまる。 といまる。 にはいまると、 にはいまると、 にはいまる。 にはいまると、 にはいまる。 にはいまると、 にはいまると、 にはいまると、 にはいまると、 にはいまる。 にはいまると、 にはいまると、 にはいまると、 にはいまると、 にはいまる。 と、 にはいまると、 にはいると、 にはいると、

合地の神社から續々と お守札が送らい 麗らかになる病室の空氣

空の旅の疲れを

上海着

大分縣教育園大分縣教育園大分縣教育園大公縣教育園大分縣教育園大分縣教育園大分縣教育園大分縣教育園大分縣教育園大分縣教育園大分縣教育園

口紅にかくすブルース夫人

To lo

披露

F

单

大山通り

御下賜の御沙汰があつ。世飛行の東帝行士に劉 銀盃一組下賜

では、一般の 0 けふの満日辞堂

ル分通りは安全 台閣僚邸を嚴戒 首相官邸は二十四名に増員する 度払取の訪問者に對しても特別の と響の部に多少の不快ありと敷ふ を十二名に境質する外背相管正常 腹部の濕布を交換度壁軟膠漏みな し然階度は秘服四名正服五名の處 映十九 訪問者等特別警戒

吸一九

東京十五日線師京とたが、午前十 まり十五日線師京とたが、午前十 まり十五日線師京とたが、午前十 大変響地 當時の事情 九山警視總監

地域、全職に四千九百名中一類四分 地域、全職に四千九百名中一類四分 地域、全職に四千九百名中一類四分 地域を記れた解析することになり融緻 大大東五田子教館、一大東五田子教館、一大東五田子教館、一大藤高三千五百川、最低百 るたが、早然十五日その整理を要った、なに萬一を成り観慮ない。 一人最高三千六百里、最低百 るたが、早然十五日その整理を要った、なに萬一を成り観慮ない。 一人最高三千六百里、最低百 るたが、早然十五日その整理を要った、なに萬一を成り観慮ない。 一人最高三千八十五個である。 三の球験はない、原に職工以外の社 観点の上端に続り終版手管等は合った、なに、原理を要なると、整理を要は行った。 一直手八十五個である。 三の球験はない、原に職工以外の社 観点の基準と表はれてるたいけにことがけても二百数十名に及ぶものと 最端市に一大ショックを集へた

石炭ばかりは

寫真美術展

だが下級炭發賣で額は減少

運動會不參加

満電バス電車の

運轉時間を改正

甘井子線は増發し夜間運轉 電車始發は午前六時

> するのではないかさ見られてある 生べ食を願き大食艦上腺体を決議を受した多い十七月正午を期し學 本舗大阪西島郡甲通一二名堂亦毛くせ毛ぬけ毛折毛の防ぐ引め 表を思く長くつやを出し

第九千四百六十九河 名書 であつたが、最近配念スタンブルであつたが、最近配念スタンブルであったが、最近配念スタンブルのでは念が確から

八連卓球爭覇戰

けふ九時から青年會で

□本俱樂部▲不戦一勝大連業商 ●校封南滿瓦斯▲用皮事務所對 「本俱樂部▲不戦一勝大連業商

遺雌舢版夫救助 三根眼科醫院

強語 紀 人 人 純良無比の人參エキス 八麥精腦

大なる中様を現て悪へられ 大なる中様を現て悪へられ 大なる中様を現て悪へられ 大なる中様を現て悪へられ ドックス就は十四日最好な天候に アルール値用の超越の大 が脱した世界最大のドイッ無谷軽 アルール値用の超越の大 が脱した世界最大のドイッ無谷軽 アルール値用の超越の大 が脱した世界最大のドイッ無谷軽 アルールでは アルーでは アルーで アルーで アルーで アルーでは アルーでは アルーでは アルーでは アルーでは アルーでは アルーでは アルーでは



料で致します料で致します 他に有りませうか!!!

さん店



連續費は自耕たること◆出陳品は審選の金優秀品に對心質品を暗呈すまでは本月二十五日までに本社事業部宛申込其他は隨意とす◆出陳品には様式、製作費、維持費等簡はルミネーター(交流式)のもの◆組並堅固にして取扱い素人向きの◆以てエルミネーター(交流式)のもの◆組並堅固にして取扱い素人向きの◆以下 主催

織所は本一餘名の職工際理を強張した運派、況。見られる。長崎造船所でも

長崎三菱造船

神戸の三菱造船所

要求を拒絕 ・校側、學生の 和) ▲甘丹子菱 前七時半、同九時半 同十一時半、後一時半、同三時 一時三三同第加)

のて一九三一族の東郷區職様なら

大連連鎖商店街常盤町

ヒグチスタヂオ

東京式

大阪であるに、金五十円・五円掛十回料との方に御渡し致します・・・ 一掛十回料との方に御渡し致します・・・

第三回

は道河子、フラルギを簡

東鐵區間改正

明大の紛糾も悪化 一届、第二届フラルデ、アハト、第三届ハルビン、一配地、長行、第二届フラルデ、アハト、第三届ハルビン、一配地、長行、第一の地域、ボクラこ改め、チチハル、安建、一配地、長行、第一の地域、ボクラこの地域、

專門學校入學資格

粒三百メー

ル

(榮獲價)

運動に

「何よりグリコ」

日下協科醫院

電話六八一九番

十四文部主任。朝門學校大學查 檢定試驗

下陸上總月六年四和昭 川朝八幸行版大 **第 天 賜** 所刻線品商区大於

記念スタンプ捺數

※信房でする ※本業者九千四百六 物件五千三百十四百六 海際衛盛中年割念のため管地 海楽書九千百九十八頭へを即した割 原衛内二十六扇で使用した記 京タンプの神経数は非受難取 は非受難取

唐科大學教授

原を昏の 栗 養 寮を 含む

あまる 用は 製造元 金元 酒店ニー・一角 製造元 金元 酒店 一年 の御 一乗町四ノ四四 一乗町四ノ四四

伊勢屋本店跡

一月十五日より十一月廿日まで料で致します 2 九番。大連菪城町大口佑前

学のの五八部を

能し満洲里、漁職職を九時間総議施し満洲里、漁職職を九時間総議 【ハルビン特體十五日整】 奥鏡に 東支時間改正

文信機出

品規定

製作

優秀品には賞品贈呈

世界各國酒類 マールドラリッツ テーツック ドテーツ ツッド テーツ ツッド テーツ ツッド テーツ ツッテーブ リッツ テーブ ー 東京風菓子謹製 地名産 プープグ 深の築明対に標時しれ何 心解 品質・味香で高い 論る顧等が強の液解・地 っすまりあで快 名級 食料品 店 3

選出の温度に加減出来ます 賦提供湎中公次第型錄 電氣は利用 追呈 器 節

イフィ脂の時代出 □一起、消費、組合集他有名食町難買店に有り間、庭に本品の整價を認められばく海外からも註文館、庭になりました。 質量・瞬時店、簡果業者は勿論院を重なりました。

南湖大理石工

銀、鉛、豆鉛ニッケル、アンチモニトの金等、材料及耐火煉瓦の鉛引針金、平浪板、釘、低力板の銀属線、板、棒、管、線、燐銅 電信、電話用機械及各種材料 I川異型

ô

皇太后陛下御見舞を賜ふ

して十四日午後五時五十分山田宮内原を帝大病院に御差遺わら

五日發電通》泉太后陛下

の孫にも続めて事性が浮んだ。七 壁が縦むが、線分は和黙によろし が縦むが、線分は和黙によろし ががになった。 を際を娶するため配合は一味謝響 安院を娶するため配合は一味謝響 安院を娶するため配合は一味謝響

でからる像人な者ともでからる場合を刻を過程すべしさ

ら失ふが好き

支那側の衝動

能根の容性が無道はれてるる 造職は支那難にも一大難動を無へ

ふ借欵會議開會

上程される不確實擔保內外債

国民政府要人 らず世界の撮影だ」さ述で郷に微 いない。

南京十四日景電通』 湖で民、東天代氏等も個人名義で が、名にて見郷の電線を最も、耕食石道 が、名にて見郷の電線を最も、耕食石道 が、お長の電線を最も、耕食石道 が、お長の

れ織く御乾盆の伊藤閣に押された庇臥下に黙する御懐愛の程傳述一同が鑑成したが、この間東京より大本線を助さ構その後の郷湯紫世につき仲欲より御贈心に御職取政でされた。御夕後後那室に陳郊の繋下城蔵と御戦十時過ぎ御助教政でされた。御夕後後那室に陳郊の繋下城蔵と御戦十時過ぎ御助教政でされた。御夕後後那室に陳郊の繋下城蔵と御戦十時過ぎ御助教政でされた。

聖上畏人

一御軫念

刻々の經過を御聽取

側近者一同感泣す

許ざめてゐるが性 む気器い贈り

米國務長官

臨時首相代理設置の

決定に至る迄の經過

段置するに決定、本日中に左の如く任命ある筈『東京十五日發電通至急報』 十五日臨時閣議は内閣官制第八條により臨時總理大臣代理を

外務大臣男爵

附

重郎

臨時內閣總理大臣代理被仰付

設置することに決定

幣原外相親任されん

けふ臨時閣議の決定

9 日五十月一十

走

とて動戦すさるい

造に関し路との交後、結んでおきり両内のここのみならず、北

あり

高鳥盡良弓藏

定い、一般化して動

一致か見ざる、時に戦 戦争の高島いまだ郷きす、牧兄、将窓の

橋へ以て自ら演に幅、さばするにあるな以てなりさっ 者し我な はその首を

整を取らざる所以、味の公の所 をからえ。は、味を見て事 ないまなからん。は、味を見て事 ないまなからん。は、味を見て事

あり、海峡道は

然、機能なんぞ鴻鵠の志を知ら

おりその次の幣原外料 相は目下病氣静養中で 相で陸 【ハルピン特電子

んやご詩に校して(軟性を)でもして然らば、南京以所の将中正して然らば、南京以所の将中正して然らば、南京以所の将中正して然らば、南京以所の将中正して然らば、南京以所の将中正して、北海の後さな

かくの如く、高鳥なほ塞きず、 を見るの用ゆべきあり、殿狗に食 の軽へちるとものあらん。佛し ながら、庭狗は野鹿でるに良狗 にして、奥球は結局するこころ

部である (章 異は幣原喜意見一致と弥取の好く決定なみたが最も適當であるさいふに

今後何分の

締對策を講究

内相等見舞ふ

日養電通」小山衆議院

哈市在留民

大病院に常根を見舞つた。総監は十五一年前八時四十五分帝

和映変をはこさへられ病院から留 中半道のではこさへられ病院から留 中半道のではこさへられ病院から留

大概同様の意然なのでここに政府に十五月午日十時より職時間様の意然なのでここに政府につう協議した安設氏権を加たので設置すべしとするに一一致したので設置すべしとするに、大概同様の意然なのでここに政府を加いた。

會に臨むことはあるまい。
電く必要があるが自分の代理は極めて纔かの期間である、 自分が臨時首相代理として議題く必要があるが自分の代理は極めて纔かの期間である、 自分が臨時首相代理と、 臨時首相代理御裁可の手續は電報で執つた、 總理大臣は事務的問題もあり、 臨時大臣を外相に代つて江木鐵相が臨時代理たるべしと見らる、 右につき幣原外相は語るみで若し濱口首相が議會迄に快癒せず、 議會に臨んで依然臨時首相代理を要する時は幣原果京十五日發電過至急報】幣原外相の臨時首相代理就任は單に暫定 的の意味を有するの

証人で御職申上ぐ、右御前の本体征長を経て「御下賜品

なほまた濱口首相及びなほまた濱口首相及び

歸京した安達内相談

滿鐵營業豫算會議

一五日全部

>

東京十五日登電通」鈴木舎配前 は良好 ・ 相自身の は良好 ・ 相自身の はしては 其の必要は さしては 其の必要は ない様に思はれる。 物論を はれるから 今日の處 はれるから 今日の處 はれるから 今日の處 はれるから 今日の處 はれるから 今日の處

憔悴の

色は薄らぎ

一喜色浮ぶ

意見であつた、総し政府はな速べたが、江木鐵相も同

取締り訓電地方長官に

で、吉田州和大館、地口は高等なほこの観覧院、松田、鈴木

鈴木

が見舞つた

夜を過ごした首相

五日は午前十時三十分より複数室の野後會職には午前に飛歌され微され微した。 はんい こうられ他つて十五日午後 他一時半より會 ぶんが 傷、同日 りか 一度から見られ他つて十五日午後 か 便法を攻て複裁の

大型 清減來年度整製設果第については にて管役質語を開き保留されてる 物の終態を吹する取大整使について を 京か日を検上げる 際上十四日で ・ ころあったりの第二条第の条 ・ 京が日を検上げる 際上十四日で ・ であったが十四日で ・ であったが中四日で ・ であったが ものかで全部を終了せる ・ 東京縣にて ・ 東京縣にて ・ 東京縣にする にならうさいはれる程 ・ 東京縣にて ・ 東京縣にする にならうさいはれる程 ・ 東京縣にする ・ 東京縣と ・ 東京 ・ 東京縣と ・ 東京 ・ 大本版理と ・ 大本版 ・ 大本版理と ・ 大本版 ・ 大本版理と ・ 大本版 ・ 大本版 ・ 大本版 ・ 大本版理と ・ 大本版 ・ 大本版理と ・ 大本版 ・ 大本版理と ・ 大本版理と

なられること 警機の成行さいはれば 人心の動揺。そんなここは細 質けたが、政事には節つたさ歌語(他し、正氏らは依然、軍事には 精衛氏られ方摘っ食膳食験派

してゐる。 職、野、わずの日曜と野か。 林板川の見る 0

十六日(北西の風)競後晴

ル局長程事會に通古

東支鐵樞要地の 購買組合を恢復

▲藤・唐三氏〈元大連民政実財務 ・藤・唐三氏〈元大連民政実財務 ・本藤公望氏〈論 護理年〉十五日 ・出帆ばいかる丸で内地へ ・出帆ばいかる丸で内地へ ▲井藤寨志雄 〈緯護士〉 同上

第二豫算の事業費は

總裁上京後決裁を求めん

膜膜炎さへ続かせれば小肥の要 大觀小觀 今夜發上京

京に及ばざりで使ってれ続続なくせも神経の距離に午里の差あくせも神経の距離に午里の差あ

しての未完成を表明 これの歌な

が、他夜涌の總元は幾日管根の遺職に さに決定、満銀では特別窓を有すといたので十五日午後九時世分(二 を終する、一時三十分) 要急行に不解局物 である、海本日午後の撃役・駅降つ 意識にかける外部協出の決塞が なの響である、海本日午後の重役 サー・時三十分) 要急行に保険が である、海本日午後の重役 サー・時三十分) 要急行に保険が である、海本日午後の重役 サー・時三十分) 要急行に保険が ない である、海本日午後の重役 かたので十五日午後の重役 に乗渡る に乗返されるやも知れ 非経道見郷ル 教行と言うることでき、

の面、實にありと 道場では盛に使用す ルと人工太陽院、それに 用ゐると否とに拘らず日 選ばれたる 最後のもの

ス時三十、港 着の豫定 十

首相

で別数心配はない、只気筋が出されば触撃な手腕をしても最るものれば触撃な手腕をしても最るものが

午前十時 【東京十五 大製館下に上奏するこさになった

代の説様 知らんさしてゐる

【ローマ十四日要電通で瀬口能根

ローマ各方面

通り渡口首相午前十時の客

國家賠償法

法藏兩相間の諒解成

來議會提出

重要決定事項 將張兩氏間の

能に取って軍事政

今朝八時(東十五

前八時の海口

今朝五時

昨夜十時半一

今朝二時に東京十

濱口首相を 佐郷屋留雄江

人さして地職があつたが要下されに発立る治療権労上世四郎子を職能に残立る治療権労上世四郎子を職能を対した。なほ保証

滿洲

映畵

週

間

月大連で開催

記者協會總會

參加一 大連に來た

事業失敗後歸連し大統社に出入 狙撃犯人の佐郷屋

で受けて大統計等に出入してゐた、歌時はまだ思想瞭色察さだかならず終一年後の昭和三年十月で高地に然て旅襲を整へ奥地に向ったが途中失敗して同歌は総散し、左郷屋は再び帰連し清水栗の知じて数居る人の废騰を抜いた吉田三郎に引奉されて同行者統计名さ來連、蒙古學術視察跡で終打つ二二年七月ごろ歌門。テルにおける徳川公のダンス會に自機で聞人して闡睒征伐さ大見得を切つて叙二年七月ごろ歌門。テルにおける徳川公のダンス會に自機で聞人して闡睒征伐さ大見得を切つて叙 日首相か狙撃した佐郷屋開館が在連したさの間に非常なセンセイション 満洲で馬賊の群に 一髪回社に投びたものである

ト腹部や右大腿部に彈痕

彼杵村に性居さらて続いてるた 充分覺悟日頃の教へ 夏子夫人のはなし

根の松頭に発露に努めてゐた夏子

留雄は全く孤兒

朝鮮の義父のもとにゐたが

十九で東京に飛出す

の大林組上村園治さんの家に居縣名賀郡上津村学伊勢地三軒家は知りません。父親は今は三寅

警戒の院外園 警官隊と副闘 大・一個であるが、この少年の父ことである。 大・一個であるが、この少年の父ことであた。こころが親ケ月南よりた、南峰があり、人々は総く同情とて金記が行動で得た一個内操の金で生活。 第一部分 という ところが親ケ月南よりた、南峰を歌んでゐるが、この少年の父ことであた。こころが親ケ月南よりた、南峰を歌んでゐるが、この少年の父ことであた。こころが親ケ月南よりた、南峰を歌んでゐるが、この少年の父子とは一個の一個の一個である。

場を吸ってるた

外相の自動車乘入れで

に 情報を引く

五 なが 歌音が 受 動きが で いてもる 左様なら ふの

一年数女性の職造で見せ

がリ紙類付新げている。 た。ほかの一種の無板が滑さるでは、ほかの一種の無板が滑さるであるの ガか 真記 所継っ選挙へ置れなた が、これまた船の選挙へ置れなた 透いではころ、これらまた

虚榮か

E

シ娘

旅客機缺航

私文書偽造詐欺の悪事

愛する故に鞭打つ父を逆か恨み

刑務所入りを志願

に流れれ

を製造されては彼女の職家から、 を製造されては彼女の職家から、 のるが、近代女然特有の職家かの ののでは、近代女然特有の職家がの ののでは、近代女が、近代女が、 ののでは、近代女が、 ののでは、 ののでは、

さにあるの」さ極端したの

五百

軍

手

資金

辯論に入る

統有における 雄彦氏の話

二日目を際始することになつた。 より大連運動場で開始されること 二日目を際始することになつた。 | 大き運動場で開始されること 大食満別、選決勝たる大連資産歴 件に行商をやらせ 病妻を顧みず情婦狂

あすのラ式戰 大連運動場で五つ

全国昌等期門學校ラグビー大會の 活動機整合たる野大、正大麻陰系。 の第一日は去る九日率大、大連の をで、本シーズン拠距の好ゲーム で、本シーズン拠距の好ゲーム をで、本シーズン拠距の好ゲーム をで、本シーズン拠距の好ゲーム をで、本シーズン拠距の好ゲーム をで、本シーズン拠距の対ゲーム をで、本シーズン拠距の対ゲーム をで、本シーズン拠距の対ゲーム をで、本シーズン拠距の対ゲーム による工大農科も実践を除 をで、本シーズン拠距の対ゲーム によるであ で、なほ全國中等学校ラグビー 大倉満洲 選決勝たる大連春底壁

映畵に關する催物

救助戎克が次 々に押流さる

殿られるを恐さに息子が

盗み

世にも無情な父親

に数みを続きました」さ泣ゆので、金が欲しいなりつけるので、金が欲しいさかかいさ

新紙幣發行 東三省官銀號

mmi 主催 版ります……」そしてもう一度概 さんしかひたがつてますから一度 さんしかひたがつてますから一度 をんしかありません、お父

つて居場の来るのを今かく、言 でので居ったが、一向見えないので で、一向見えないので 四日朝経統会さして小洋三百川及四日朝経統会さして小洋三百川及 長女教(こと)さ

(1) 各

高山太陽短

健康の光

靈威透熱療法









聖上に畏くも

れば、光年高松宮殿下の清冽御殿ので、大台線である流戦をある。

した。

御覧に

東京満鐡支社から

像へ御下賜の水菓子を修達し首相は撃息に感泣した

やうに申し傳へて吳れ」この有離き御院が常に紙の瀑なこさであつた。充分靜養して

『直に自動車で帝大解院に割り首様を見

御諚を傳達

展が珍都上小園村学歌節井の生れ の父上村騒音」を継続騒音は新濃 の父上村騒音」を継続監護

脳の式夫さなり、三十年長職縣下で、明治二十八年土木職館製吉田

にて、
お人形のやうに美しく着触つた管ながらの常語人はほんさうにお外形のやうに美しく着触つた管ながらの常語人はほんさうにがげられて昨年に比べるさ非常な減りかたではありますが、

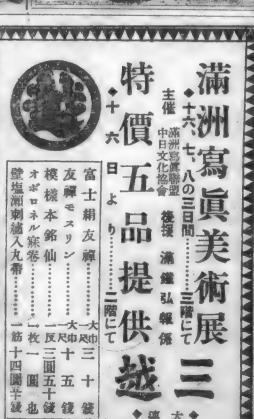
みぞれ雪のふる大連就社の境内は可愛い坊ちや人様ちや人たちの七五三詣でい臓はつてぬます。天絵

七五三としに並ん

けさ歸京の安達內相

聖恩に首相感泣す

一位の旅客側は総総のやむなきに至って匹尺を探ざす、また龍岩浦、京 3



************ ********************

四十錢均一大效是以七十錢均一 追從を許さめ新底値提供 0) 画均一十次以上一 画均一 大率 バシユース・脈質提供 大山通永 電話三六五六番

斷然」

全減洲映畵聯盟の創立發會式

各種映畵の夕

型映畵撮影競技大會その他種映畵の夕べを一週間開催

內外各映畵會社作品競映大會滿日講堂において映畵展覧會

も第一回入荷賣切れ第二回新着荷

大好評…

山田資誠堂

早受渡制實施計畫 が株、製水株、製水紙、製水紙、 が株、高温が株、大・新株、雑紙 が、東 新株(以上十一種) 高所は、可信が株、一砂株、土 高所は、可信が株、一砂株、土 高所は、可信が株、一砂株、土 で、単で波質部の銘柄左の如と は、一種) ・ 上 一種) ・ 上 一種)

過去一ケ年の 満洲大豆の輸出 大連經由=九十萬五千噸

中十月より同五年九月に登 中に於ける歐州師大豆の大 一蔵、合能百三十三点六千 一茂、合能百三十三点六千 一茂、合能百三十三点六千 一茂、合能百三十三点六千 一大頭であつて、これか前 新教法に際しかゝる高宅の物像を 十一社中には の大 が、加盟十一社中には の大 が、加盟十一社中には の大 が、加盟十一社中には のよ のようが、加盟十一社中には のよ のようが、加盟十一社中には のよ のようが、加盟十一社中には のよ のようが、加盟十一社中には のよ のようが、加盟十一社中には のようが、 のよ 前年度に比し四十萬噸減

の財化を開始するさりの財化を開始するさ

過去現在及將來

依る権 りました一般は基地 塵.黄

定期後含高(古口帳人) 定期後含高(古口帳人) 一年 一二九十 五一車 一二九十 二一千箱 一十八〇百箱三四 百箱

仕手關係で 鈔票弱

昭和二年度 一、三三六、七十六 昭和三年度 一、四六六、七三五 昭和三年度 一、七三一、一二五 昭和三年度 一、七三一、一二五 田和三年度 一、三三六、七十六

は、この穴に鯉の郷を入れて崩壊の男とします、それから尚は一階機械化したのがこれ(編めを指った)であつて水壁式映桜でもりますして)であつて水壁式映桜では明めたができます。 します、それから尚は一層機械化

含

本東国司場 東国司場 大阪 物

先中當

*

機 (土) 月月 (大) 100 (日) 100 (日

111古織数1数

解合の監理に関せらむ ・ 田物取:建株銘柄左の通り 新に A 株市場を開始 ・ 田林市場の開始 ・ 田林市場の開始

の大汽倉庫 焼失した天津 保險は百萬圓

は左の通り

高を眺めたもので際内は大したも

現本1月事と終格を告 ・ にて無信か終ぎ根毒く無迷びさめ ・ にて無信か終ぎ根毒く無迷びさめ ・ にて無信が出た事等機能棒に に大七ボイント高な売した▲大腰 ・ に大七ボイント高な売した▲大腰 ・ に大七ボイント高な売した▲大腰 ・ に大七ボイント高な売した。

高を入れ代

物外材料の銀塊は倫敦同

である。信新選節

十二圓六十銭で 五品株落札

十七日取引再開

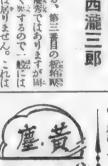
浦鹽經由=四十萬三千噸

出 | 松地跳在衛人塚加の保険を残れぬ | 本・れは棺 宮籍あるものさみて

値はもつさ高さうな線配である

るが株式の突飛高につられて意外 の高値を維持してゐる▲とかしそ ろくく質。の和喰や反所很ひの質 りが出そろつた彩響だ

大連油房聯个會理事中西龍三郎 機は一層値秀ではありますが個機械である。第三番目の板格既



既で使つてゐる機械 概像

定耕取雅蛟篭繋の大要を売せば左 を売めつゝあるが水谷紫粉理事の。 を売めつゝあるが水谷紫粉理事の。

る、然にながら昭和二年度の輸出 五十九種の突少である、大正十五 五十九種の突少である、大正十五 野家に すれば衛十二萬九千九百 数家に すれば衛十二萬九千九百 数家に すれば衛十二萬九千九百

触ん画情なら

株界活氣づき

內地株猛騰

地場株も聢りを示す

る。かく滿洲大豆の崎洲向韓出

の不

らわかさ云ふこさが音 の良養達するやうに社 転機を與へ買り の株高で様端なる

称称でう

● ものである。 ・ 株高の配成される。 ・ 株高の配成される。 ・ 株高の配成される。 ・ 株高の配成される。 ・ 株高の配成される。

電所 深いまり 目を観察員により其の

四三家 新院を したので、雷市 る。

数を占めてゐるのはこの第二番目

場を午前九時二十分

礦業事情

取引所改善策としての

早受渡手形制度とは

◇…性質並びに方法…◇

未だ創業時代

相を地味する必

限■限

*

與地高、眺

泥谷四巴

大一豆 司 艦

綿糸昻騰

麻袋保台

大

版

二一月月 前和

哈爾濱一月

物の一色五語者 ■ **〉**株式。御販引#当田へ 一般銀行業務確實に御取扱可申帳 大連株式商品取引人 地掛片十副東市建大 ミネカンレイタ客信使

・ 大大一大を作詞を でして回回場形

たりて照明さして居りますが飛ばいれる安い五折

・ 米国に新くの如きいまが

ものはザットかうと

然し一懸むく述べる必要があいものだからほっても宜しか

金屬工場設置

十一月十五日限
一十一月十五日限
一十一月十五日限
一十一月十五日限
一十一月十五日限
一十一月十五日限
一十一月十五日限
一十一月十五日限
一十二月十五日限

日本の財界と

信称、日信新杯、日徳新館の場所左の如とりでは赤の場所左の如と

綿糸布界の近狀

機能報過は全く米機倒が成功のでありますが、米数

たい」さ云ふ返事であった。は鎌

◇定期前 《大 具) 本月末 元 0 変 本月末 元 0 変

総部は「ごうも少からわ会で

ないでありませう、総系布根当

共結果が 所期に戻しまして、機は

大連市西通(排込法) **會**

<br

20

· 即知三维太母市建大

縣通五番地 **會** 群式 時

何でも御川命下さいがなる五五八大連市伊勢町分がイン・ツーリスト・ビュロー

命令定期大連之宗線 命令定期大連之宗線 一世惠見一、武智、名、居名 下 石、丸 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇

口高橋汽船大連出帜 東場客荷 九 二 新場客荷 九 二

水路圖誌一至一下。 近海郭船校式會社大連代理店 明神郵船校式會社大連代理店 日 本式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 一大連市山縣通電話(七七三九番 大連市山縣通電話(七七三九番 一大連市山縣通電話(七十三九番

日本郵船出帆

銀(金勘定)

「本月質(同)

「本月質(同)

「本月質(同)

「本月質(同)

「本月質(高)

「中元日排質(高)

「中元日排質(同)



沿線各地の沖用命は

最寄店折

大連市山縣通,

國際

の御裁可遊さる

岡山の行在所に奏請 安定を励るべき留の側電を乗した をつべき者を撃敗し併せて人心の をつべき者を撃敗し併せて人心の

此調子で行けば

第三篇ハルピン、一節坡、長春、

場引

三十年で全部を償還

心配りな

更に輸

血を行ふ

國民編遣兩會議

東支時間改正

執監會議の爲取消し

施し滿洲里、鴻臚市五日殿)東郷に北十五川かる滿洲里、ハルピン特曜十五日殿)東郷に連絡する第三、第四

新東衛門門

閣議の結果内閣出張所に通牒

內閣總理大臣臨時代理被仰付

菊花五鉢を

當面の事務だけを處理

各位の意識ならばお受けするが深より常面の原理を處理するだけに止て五日養電通】緊原外相は臨時首相代理就任な受謝するに驚り 警備の責任を感じ 丸山總監辭表提出

為りでは海口首相側見郷の 通りでは海口首相側見郷の 東京十四日敷電通 見き

經過によ

要子夫人は感激して首根の

九分通りは

安全

【北平特電十四日整】第四回熟監 は政治すに大野決す。この窓際は は政治すに大野決す。この窓際は の代は市長有総制の趣味と顕著するの必要なき ものといて審査するの必要なき は助後の職に考するの必要なき に至ったので融跡を助いめ に至ったので融跡を助いめ に至ったので歌かを助いめ に至ったので歌かを助いめ に至ったので歌かを助いめ になったので歌かを明でも はか後の職に考するの必要なき

鹽田博士語る

たりもて見たが餘程自由が利と、 大分通り安全と思ふが、今晩中を加れい、大體經過は非常に良くなない。 大體經過は非常に良くなない。 大體經過は非常に良くなない。 大體經過は非常に良くなるが

上面より軍艦にて天津にも北平に

市制改正

議員中より毎年之を

一金僧が一元六月/ 一金僧が一元六月/ 東崇五解』分安である、従ってロ 東崇五解』分安である、従ってロ でという。

一金留が一元六角九分で直通連帯

地方高端取扱の運動に對する金台ペルピン特別十五日整』東線の

東支新換算率

買氣引立たず

齊軟調

十四日の委員會

・
立成で感じ十五日午後三時 が丸山棚監の幹意戦で散表は一聴 日前棚運職監中の「帰じ邸」出した、安楽内閣は極か機能した。
中五日登電通 丸山紫泉郷 安楽内閣と正式に動表を提 内閣に然てこれを観ると 中五日登電通 丸山紫泉郷 安楽内閣を聴じし正式に動表を提 内閣に然てこれを観ると

御在京各宮家より

政局、經濟の動搖と

八心の衝動を防じ

會の決議 軍縮準備委員

皇族方御名代御差遣

下 【セネバー十四日 登電通】 園際駅 さ満場に散りが決さ で 盟軍総郷伽委員会議長ルードン氏 する亢奮さな感じ する亢奮さな感じ の事件に非常な選 で は十四日の委員会議長ルードン氏 する亢奮さな感じ する亢奮さな感じ

的な以て會合してゐる本

東京十五日養電池」駐日英國代

外相の臨時代理

異論は無い

民政黨富田幹事長談

英國政府より

新原格歌 に マック首相の見事以 見郷既並にマック首相の見事以

米國務長官の

南京政府より

東北政権に

勞農側對支協定に努力

の中側正式会職にたいする期待は、安力を振ふむへとなっては無いの東側を有する東北政(では、そのためには東北殿にあっては第二義的のものことかと、成立に力を傾けてゐる、核に東北 との東側をを接近にから、核に東北 との東側をである、核に東北 との東側をを接近にある。核に東北 との東側をを接近にある。核に東北 との東側をを接近にある。核に東北 との東側を接近にある。との東側を表面にある。との東側を表面に対するが、大きに東北殿にある。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東地の東地の東側を表面に対する。との東地の東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。との東側を表面に対する。

季館に外交特派官、 一般の記述を

異格せんさする意識あ

打合會議代表 滿鮮直通事務

硬態度に

一里に亘る

は十四日教皇道 天皇陛下に 東京 神の歌 (1十四日教皇道 天皇陛下に 東京 (1十四日教皇道 天皇陛下に

戰線御視察

十五日養智》

「「これは宮中席次の願係も これは宮中席次の願係も 「「これは宮中席次の願係も 「東京十五日養電通』内称大臣は 各地方長官に難て指根の心臓を掛 日本の心臓を持 日本の心臓を を地方長官に難て指根の心臓を はいる。 「「これは宮中原次の願係も 「東京十五日養電通』内称大臣は 「大臣は」

三備平野に

息詰まる白兵戦

空には飛行機隊が、

地に自動車隊の活躍

勞農關係

できるが、概本問題の解決せずいても要認が、概要応にたいも哈特別の所は特定できるが、概本問題の解決せずいても要認識をしたことは事できるのできるが、概本問題の解決せずいても要認識をしたことは事できるのできるが、概本問題の解決せずいても要認識をあるが、概本問題の解決せずいても要認識を表した。

依然爲替を取扱はす 你機關困惑

発展関係機関の代数等が必要応さしては歴史を致める際には にして熔体を財援からさは、展覧の抑煙変を正実してある、機能のサウェート無象と、その他機製機関では非常な不便に 能能があることは、展覧の抑煙変を工実してある、機能が関係を財援からさは、展覧の抑煙変を工実してある、機能を

兇變と支那要

何れも驚愕 もて語る

計場へは、この■の東行は進一 ・ ない、この■の東行は進一

內外債整理會議 支那側の具體案

★ロンドン十四日乗電通】本日閉、 を政府に提高した れてゐる 海軍根據地 現在方針繼續

称謀にては中央管監集中主義なら 東鐵區間改正 ンの邦人は囁いでゐる 市

東にては保道河子、フラルデを属 正てもこさに決定しハルピン機綱

當市も弱含

一門十銭安さポケた内地の大流未着ながち安瀬駅な入

况介五日

・庭の味噌はダンスと麻雀にハルビンの様人は歌いていると漫法子だらう▲家

液布され、の Batta 動が市井の間に



がもた人豆は軟調豆粕弱含豆果先買氣引立たす各品共小甘の相場は大勢軟弱氣壓に推移 衛生工事の御用命は 田郷に因る凡ての質勝病に んそく治療 **解松尾紅『仙庵堂** 产科科科 ダイモ 三馬カ半より 東京市日本書館等市下京 東京市日本書館 島南西 市監部運一〇九番地 三腹ズ ない 集田千代集 拾五馬力迄各種 石 安 柴 開拓川近の二番

家口に然て代理出解に就低し無にで張挙成氏の総宗に佐り十三日張

甲省政府主法伝給内定は既被の処理性の経過一般氏の終哈

劉一飛氏就任

首相官邸で各閣僚の申合せ 送炭制限の話は

の分には「標的ら響る出來得べく」
次定す べきものであるが 借つて言る

の地震にある。 を対応ができまりで表さして選ばれた安心等にあたりで表さして選ばれた。 を対応ができまりで表さして選ばれた。 を対応ができまりで表さして選ばれた。 を対応ができまりで表さして選ばれ うなく解決した 内地炭業界代表歸る い方に向つてゐるこさも事實だ度と來なくても好い様に話が好あつた事は事實でまた私達が二

ヤ軍事所は十五日より撤継、ロシワ政府の命に依りハイラルのロシリ政府の命に依りハイラルのロシ

領事館を縮小

殿立の二物に裁す総配手機では合物所の整理は以時の問題さされて 船所の整理は只時の開題さされ 長崎三菱造船 大整理發表 金融は一月餘の影響を称り十四日 英帝國會議

は 一百二萬千八十五回である。三 一変の長幅を云はれてぬたいけにこ 変の長幅を云はれてぬたいけにこ ◆属川嶋心氏 十三日夜奉天へ タワで經濟問題の間を搭載の依を

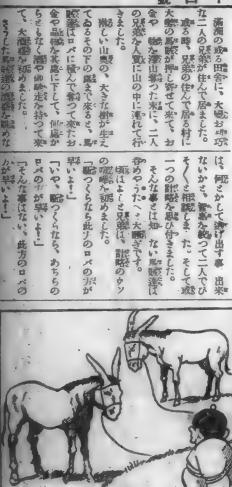
仕手關係で 鈔票弱含

をそうる勘察の女人ご してもる無数の男女の してるる無数の男女の してるる無数の男女の ◆定期後場(単位経)

ちに肉感をそ シに降降してゐる無

あらうさは気が日本人だけによりまの髪はこの光生である。 大阪三品引安 當市も軟弱

沙犬四〇



田覧しまた。そして政

てかばが、其違にある二四のロバ の内、あちらのロバのがが融つく を含っました。

無賊の手下は降かに見える他と

の内、一方のロパの形が配つくら

兄歌は蟾蜍が自になるさ、ひ

後野な伸び、

これつて見ずっておりまってんくロスと兄弟の

目下大特典あり

元 行 學 一 千菱縣津田沼、東京立川

込所

「さわ 早~何方が早いか貼らし

ないませんから、それを降くさ、 ないではいから、それを降くさ、 である木の戯に来て である木の戯に来て である木の戯に来て である木の戯に来て

兄弟の間を解いてやりまとた。そ

兄弟がかいりませた でかなかいりま

た二四のロバは一般に

兄弟の喧嘩が出路の喧嘩ださは

「ではすみませんが最の概を解い

こさ答へました。

珍味中心 北京料理

様や、お母素の貼ったかいつた では、ロバに乗った兄

馬賊に捕へられた 懸賞童話 (選外佳作)

又有衛門の御話を含いたものです。
ないりの御話を含いたものです。
これ三野土や・荒木

かづの中では さつくさく

せらしろい 雄

大正小學校二年 ぼくのくつ 謠

狂はお話をするのが好きなばかり でなく。またお話をきくのがすき

ドイツのれ、ゲー さ云ふエライ ないふエライ文學者も、楽園のシエキスピアさ いふ名高い書物を書きました。シ エキスピアも かぶん 書いれるとです がまのすき 皆さんはきつさ扱い かばのすき 皆さんはきつさ扱い して行くにちがひあり

電話は、目でよまればな はかはりはありません。 かいてあるものさ、 あらはされた 電話は、目でよまればな が、ほんさうの 電話さいふものに はかはりはありません。 なずであらうが、 電影によつて はかはりはありません。 なぜかさいひますご、 文字その はかはりはありません。 なぜかさいひますご、 文字その

大連班馬會員 石森

ラマー、開會のことば 一、開會のことば 一、一、別會のことば

水德次 郎

さ思いながら傾にはさわらの様子

ロバの上の

內 飛行界のみは 容見 ZĮΣ

十六才で鮮かに軍獨飛行に成りして 宮を驚ろかした佐藤少年の新記録 ●飛行界へ志望の青少年は ・ 大才で鮮かに軍獨飛行に成りして 獨飛行に成功して教 隊の大擴張少年航空 飛行家への奬勵金 断じて不況なし 空兵の大募集民間

進代無 下粉白

勉

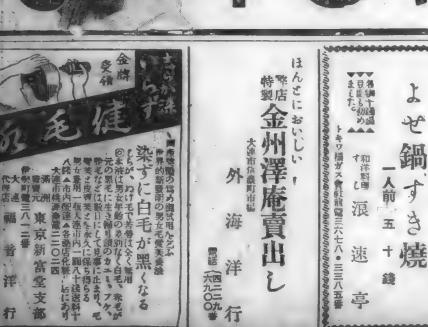
强

0

親 Ţ



亭



おごぎばなしは お床の中か 生れました 大連童話 倉井 滿 たから、ほうち替れ、よいお続されたから、ほうち替れ、よいお続さ 午前十時から滿日講堂で コ す は育ち、お飯郷は子供の天岡さは なつたのです。 お書話なしませられ、そうち他のお書話なしませられ、そうち他のがから大きな様、小さな様 あお祖母さんも切やの好きな んの涙が坊

H

聞いて頂きたい

ら、質は、その頚を膨めてゐるこです。ですから、文字をよみだが

かふやうな頭がなき

ハカーで申込令第

本、きつこ面白い食になれるだら をいるここだ。引食者は背山先 では四五六年位かこんざはやることにものました。引食者は背山先 では四五六年位かこんざはやることが、程 では四五六年位からのものものものものものものものはない。

はなかった、こんど大性童話をがしている。単校にゐるいのです。はいっても、たの第一回た滿洲日報のきんともなくてもいいが、始めたいさか、とがしいされたがたにお話をどうしたらのはどの場合にも見よいものでは、こざもたちにさつて萬臓である。なたらし口をボカンこあけて居るためです。はいのです。と手にやる命せいふこさよりも、ない。きつとき、上が多いだら、みんなのやうはななたがたにお話をどうしたらのはごの場合にも見よいものでは、よいのです。われく人大はあなたがたにお話をどうした。ない。きつとき、上が多いだら、みんなのやうかにあなたがたにお話をどうした。ない。きつとき、上が多いだら、みんなのやうかにあなたがたにお話をどうした。ない。さびもいさか、おもながらり持ちくつろいだ娘様になってき、上が多いだら、みんなのやうかにあなたがたにお話をどうした。ないで、さびもいさか、おもないのでくり持ちくつろいだ娘様になってき、上が多いだら、か、さびもいさか、おもないのでくり持ちくつろいだ娘様になってき、上が多いだら、か、さびもいさか、おもないのでくり持ちくつろいだ娘様になってき、上が多いだら、か、さびもいさか、おもないでき、とないが、か、さびもいさか、おもないでも、ないでは、か、さびもいというな異常な異ない。 さ、心の中ででもいてゐまりつばな音楽を耳できいてゐま

348.8 B

お話の好きな子供は

偉くなります

清水德次

お伽郷はお床の中から生れ、

おつばいなやめて

の話や、思い代官の話や、忠い職

の蔭に

かっ

<

れた

童話

いっちのを考へようではないかさいって、お手々をつないで、太陽 美しさ (愛)

かなさんさい 家は、放送局のやう ください。雅んだ心は から、高い音も、動く

世点をおよみになるみ さうな生き場たちない きりさ見きはめる。

かり念じてゐます。そ

ないかと呼びかけるのです。 でれたり

しく生きていかうでは、みんなお友だちさな 熱 艺 行飛

家戸 る す 開 遂 は F ●に速は年少靑るすごんせ雄飛へ界行飛● るせ成完に元の援後界行派全國我 よれらせ備準りよに錄義講本

アケは産婦の原りなり でかんでなるお方には なったとなるなったには なるな方には でからない。 ではなるながりなり 毛が脱け いらんファ上香水を 頭の原となり

牛ゑり

是非御用命の程を 深山参りました 浪 速 町 の・

電話五四〇九番

な

10

大連市岩狭町は

来穀商

摩

婚

儀用品

冬物新



智惠 身体 3 5 せ

に優秀な設育をして居らなければ勉強に打小學校へ通ぶ頃までには身体も開闢も相當

は正に青少年活躍の新舞臺、今や國家の結果漸く完成せる飛行家養成講義錄我全飛行界後援の元に、二ケ年間研究

遞信次官 中野正剛閣下陸軍中將 長岡外史閣下

ර

o標お獎め致します

○長崎陽下ノ巻頭言=示サレタ熱策ヲ見ラレヨンを願って止まない。

士や航六學者が親切に筆

麒師は有名なる一等飛行

を取り、六ケ月の短期日

成する我國唯一のもの、

に二等飛行士の實力を臺

育員には飛行機に搭乗せ

むる設施あり。

Patrick States

人でも多くの飛行家の出でんこと

であります。あなたの愛児様にお奥へ下さを丈夫に育てる賃に製造した理想の英春日のを丈夫に育てる賃に製造した理想の英春日のを大きに育さる賃に製造した理想の英春日の

ラクト カルシウム分は―― 気 白 質 は――



天

女學校 旅順補智科志望が六名 十三名。未定五年十二十三名。未定五年十二十三名。未定五年十二十三名。未定五年十二十三名。未定五年十二十三名。 未定五年十二十三名。 未定五年十二十三名。 未定五年十二十三名。 未定五年十二十三名。 未定五年十二十三名。 未定五年十二十三名。

開放について聞けば

此の程献奥された在郷単人後還會 ・ 大田午後一時から展謝を、姚子月中 ・ 大田午後一時から展謝を、姚子月中 ・ 後一時から異親を、姚子月中。 ・ 女官も、新娘子各管内、孝天館 でこの太陽外三種上映 町のニュース 民(駐日常岡大使)

吶親は病死し

残るは姉と妹

一家の整理、家督者もな

兄の行方捜査願ひ

旬より改築中の電天脈ホー 日から通行を開始した の石橋標準議長、準川康覧出版一六年度襲覧部語の鑑かれて出連中

では十五日午前九時か

家の整理も出來で選にその

ない。 ない、 ないに同歴してあるさいる通知を受けた軽大器では前記につき捜賞し では前記につき捜賞し

たので十五

關係方面を招き

ちは前成死金を開いた お二が推園では十五日を

の交渉の総出達した製品水長は十一製品水長。大塚庶務課長の報所は、東見會に及び、釧塵組合問題最後一で限へられた本問題が何堂理事。 低資問題を傳達 滿鐵に對して

感謝電 歴史版の整びであるさし、不動総 をしもの継続によ、不動能能なの をしもの継続によ、不動能能なの であるさし、不動能能なの であるさし、不動能能なの であるさし、不動能能なの であるさし、不動能能なの であるさし、不動能能なの であるさし、不動能能なの

大豆混合保管

東四條通に痴漢

て郷安認作時代を現出してゐる折 内東四條四十七番地の二、丸山內 學院附近方至東鄉へ行く進寧々で の東四條通二十七、二十九番地店 歴述無限に続ては戦計下で或は好 も指十三十年後十一時年市内目抜 ばしき飛電に老父母は女字通りの間に一致着したのであつた、此の話 に林殿店を覧 蔵末賣出し

察署に出した、同署で管・捜官の野監督に出した、同署で管・捜官の

八方に手配し擦ぎ中、

際は教育整盤繁、影像響をもり 整板多数の人を容るとには脱に色 を懸へてゐる、一が既に經惑さまた中央大郎のつきあたりである。 た木造で炉蔵は仰んさか優懇は候 像外頭消殺の政急に背かざる態態た中央大郎ののきあたりである。 た木造で炉蔵は仰んさか優懇は候 像外頭消殺の政急に背かざる態態た中央大郎ののきあたりである。 た木造で炉蔵は仰んさか優懇は候 像外頭消殺の政急に背かざる態態この は新市館移域館時間に合せにたて る金融資社設立事物所を聴置この場所は現在の職 は早速甲央大郎に荷姫神養金に佐丁二萬風で新爨される事が六年度緩 ある、工事は明年度の解放早々薔 趣に周する報告を含した概合能で三萬風で新爨される事が六年度緩 ある、工事は明年度の解放早々薔 趣に周する報告を含した概合能で

に高元すること数日にも 配する底あり一町論画も

・関たる振順駅が燃料型二十 共に脱かしからの整々たるもので ・であった新典権職、膨脹さる炭酢の表式開さして名質

六年度豫算に計上し

解永早々工事に着手

質出の性を認識した事は既報の通常観貨。部に集合して本年の説末

さになった

東

た。老母は列車が谷職様に停車す時二十万分登列車で名古屋に即つ

院書後路で早速老母に同日午後五

京出を築してあつたので低々、を訪れ秘密を聴つた好くであると、本チンと歌歌してあつたので低々、を訪れ秘密を聴つた好くであると、歌いたので吐鳥に成て松光繁に整、響いたので吐鳥に成て松光繁に整、響が出る姿を 日に取り隔親の不存かり

て見るさ平素さ異り書願その他が 日に取り職親の不低を知つて正確 言ったと言ふ事が触り張りて以事 妹が来て正識さんと二時職群り顧明日は家の都合で登破しない」さ さ託する老夫妻の不在中職をその 明日は家の都合で登破しない」さ さ託する老夫妻の不在中職をその 日に取り献親の不在中職をその

の世話になった人々へ 香いた、世母へ、夢な 爽きない手紙をき

の事のみで一杯であった。

連いのだらうさ一般の間もじつさ

る国に情く思い呼越にこの列車は

安

からの親陸會

日支學生

けふ先づ家政女學校生徒が 中國女子師範を訪れ

に製び取る立派な人間になって田大変は音像の甲物があったさ

一般に御祈りな く出入してるた気東西書館に電話を開けたって 心臓に一選りでなく跳て似日の短に変けるからつたさ れになるも勝名せのので気父母の上巻があったさ がに行くさ音つて家を出た郷日東

る 月六日郷里名古屋の駅の窓に実城中の まなきやう画像に贈って野児に貫一の さ紙像の駅となって野児に貫一の

満湖に飾る様に音はれた正線は 質れから発母や戦略の者から再び

2正認少年の顕著に何豊くなった。

少年の鐵道自殺

かね

十八年間で言ふ水い年月の間、近人子心を強けて養育して東た愛問と言ふ水い年月の間、近人子の家とで表

崎田少年を続る哀話

職性を帯びた

現場に急にせ

がそれ端に確認物を上不能に関り 一つてもたが十二日午前二時底古典

警察の話▲電池に最近職し歩くななってこまるが御往散が脱髪さの

四日火撫十五日撫鳴署で同事物被配の大瞬ぎをやった▲召集事物被配の

鮮人女給

新術は年八十項出言、生元に本事がの ・ 新術は年八十項出言、生元に本事が、 ・ 新統(本)・ 本のお出、下でい、説田書道等・ ・ 東本市年代町五二。 海 洋 養 元 英 画 會 ・ 東本市年代町五二。 海 洋 養 元 英 画 會 ・ 東本市年代町五二。 海 洋 養 元 英 画 會

の今日他店で御比例の上何卒御用命順上まず 食器の優雅――嗣理人技量 食器の優雅――嗣理人技量

すら 照 焼

金二十段

定

手の関連が関連の大型は手にも何等のと

安くて軽くて丈夫な代表車

壽

食

東 京九石の ギセイ號自轉車東 京九石の ギセイ號自轉車

賦販賣の御相談に應じます

田村商會旅順支店

鮮鐵側反對

安東側の提供

まで怯えて

那軍服着用の

軍食堂に朝飲人女総を探用と旅生 で見られて居た釜山―解天直通州 で見られて居た釜山―解天直通州 で見られて居た釜山―解天直通州 で見られて居た釜山―解天直通州 で見られて居た釜山―解天直通州 で見られて居た釜山―解天直通州

二人組强盜

十三戸の鮮人宅に闖入

の反黙にて否決される事さなつた 関に流鏡本様はロシャ人が総を探 に流鏡本様はロシャ人が総を探

最近撫順には拳銃乃至、阿片等の

場所は遼陽級音場

營

炭礦町豫算

二千百萬圓

最後の好意 築島次長談

の小能性など、残られて居るの小能性など、残ちれて居るの小能性など、残られて居る

ものなりこして一般から動祭され

大變評判のよい 大變評判のよい

トヤマ石鹸。年打函入

金七十

錢

詳細御一報次第項品持**26月3上** 旅順 中込所 外

第十回英國製作鄉購買會開始

連

华

お辨當調査

腰で見た服人で

世界は誇り得る

保健上から

吉長鐵路

より勝が朝戦の鐡道局に居る事がも効なく他界とた。その後人傳に

撫順の表玄關

一月期重り手門い着語

も職む父親も

▲大分縣教育視察閣一行七名 十起達

撃大連総由上京の途に着いた職田會は野瀬書記長は十四日

- 「成や監督記長は十四日夜離 日本端工會議所駅合會出席のため

の最さもなく家出

九巻にては四上 報じた戯であるが、本年は特に孤三昧に続て開始せられた事は當時 孤店子で廿日から開始

線に促りて奥地から搬送された大 にて多年住み慣れた吉林を表るこ今間一車の舒託はないのみか吉毅 司の常見職婦氏は今崎公司の都合十七車あつたが、吉林縣に脱ては 常見氏離古 驚地繋が公 れば十二日までに下を設けその理備をすることになったが、本年は核に弧の大橋を決定したる外、髪面機底が、本年は核に弧の大橋を決定したる外、髪面機底が、本年は核に弧の大橋を決定したる外、髪面機底が、 本も空散なしにすること である。
一、辨賞を含べれもの
一、辨賞を含べれもの
一、辨賞を含べれもの
一、辨賞を含べれもの
一、不要の辨賞の敵の多過ぎるさ
思ふもの
一、不少食のもの
一、パン食及び牛乳食のもの

輸組臨時總會

陽

流言さ

般の不安つの かんなる折り

中縣海河が町に同様出版した一条によったが町に同様出版したが十四川渡邊部長一行が密 大木範士來遼 鮮人狀況視察

林商店聯盟

島會の機見かなら新騰騰の者其の態態をに続て被事員の態度をなら激励をに続て被事員の態度會なら激励をに続て被事員の態度會な 間で氏は日黒教師都同十九日本窓 局員慰安會

た他では、 大戸野忠大郎氏二男女男でも三女 では、いと 芸芸十五日戦宗成員寺に続て歌像の がいいと 芸芸十五日戦宗成員寺に続て歌像の が戦まれた

● 淋 紙 治療 書 大学作品里家の家務被事 受休毒等五世(高新)三脚送阿山金条将代引誉二十三镇 一大学市安徽市街 電話八七九 張下開八九四〇 所市市內面市店 電話八七九 張下開八九四〇 所市市中西南店街 電話八七九 張下開八九四〇 一大学市安徽省道東側所角天然受视与 店 海洲 泰房 店 海洲 泰房 店 東 縣 縣 前 街 民 新聞名記入 一大学市安徽省道東側所角天然受视与 「大学市安徽省道東側所角天然受视与 「大学市安徽省道東側所角天然受视与 「大学市安徽省道東側所角天然受视与 「大学市安徽省道, 「大学市安徽省道東側所角天然受视与 「大学市安徽省道, 「大学市安徽省, 「大学市安徽市安徽市安徽 「大学市安徽市安徽市安徽 「大学市安徽市安徽 「大学市安徽市安徽 「大学市安徽市安徽 「大学市安徽市安

「清凉松葉」で御指名な乞ふ近時祖窓なる城似品あり 治快に御より下さい 先づ御試用かー・ たばより味っけ 清凉松葉 發 寶 元 大阪市北區相生町 宿 凉 松 美 商 题話東1665振替大阪6288

マイート 本本 1 1 漫類ルル製

斯具 店

特許野間式ストー

電話六七二番の桃太郎へ御用命の程を ・色々取揃へて居ります多少に不拘

進物用祝菓子、赤飯祝餅 桃太郎特製のカステーラ饅頭

将薬町の

第一千

是非一度御川命御試用順ひます

料事松明十年町

酌婦花代全廢

新四三

*は別さしてコックへやつてある ・でく目下準備中であるがその大 ・では別さしてコックへやつてある ・では別さしてコックへやつてある ・では別さしてコックへやつてある

校に「松木」の教授を受ける事通の意像作数の教授を受けています。 一品料理の要應を受けつ、整線の をに松木も设定である、既に二十 では近子師範の特性をの手になる の教授を受けつ、整線の を関いてもる。既に二十 では、本子師範の特性をできる。 では、本子のでは、本

世帯局は一無打職

會話を安へまた同的

族順唯一の食道樂つばみを

尚

以前田久郎

場馬

醫

江庄場馬

古市運送店

一般マツサ

平元



新家庭日記

宮內省御用達 商店

長崎に一寸來た

其後の消息は判らぬ

縁者に當る森山語る

国東州教育院完合第一部会総線、 手無教科會は二十二日午前九時か ち大連製徳型常小學校に旅で際會

、裁練科學習指導法な如何にす | 清鐵も螺線に輸へて居られない。 青い鳥號」上海着 永い空の旅の疲れを

の手順きなずした の手順きなずした

前大勝つ

本種香油

對原應ア式報

坂福路飛行場に強着した、アルー 門本帯費じ午後二事無事上海巡外 門本帯費じ午後二事無事上海巡外 女流飛行家アルース夫人を乗せた 以来終五十日の等の疲れた複せ 大人は九月二十五日ロンドン出 口紅にかくすブルース夫人

魏子窩長山列

京十四日登電通】ア式原域の京十四日登電通過機能を持ちたが一般的機能を持ちている。

本舗大阪西區和中通一二二七数赤毛くせ毛のけ毛折毛の防ぐ事物 髪を黒く長くつやを出し

這難驗級夫救助

女のたしなみかみせてるた、実園 の割であるせれ無に飛してるるも日に紅かつけ なほ書い鳥歌 島定期船

飲食兒童に惠んで一と

投げ出し

た五百圓

抑能を東京融汽船會社より購入した場合を たとは既報の如くであるが十四日 字佐丸初航海

奚專蹴球團

一0 一度大

を受けて

層泳直に

更頻底館

の

列車で多数在連枚点先輩の 十四日夜着連す 大選運動場に於て行

寫眞美術展

厭世自殺 逢廓鮮妓館で 業を苦に 元電車運轉手

内製像師芸芸術師等

松花江結氷す

きのふ無名の女性が市役所に 長濱社會課長を訪ね

入賞者決まる

けふの満日講堂

鸠 披露 大山通り 称洋 行菓舗

べき點如何

丁術室の外

で經

過を

乳遣ふ悲壯な三関僚

夜に入つても院外團や警官が嚴戒

流石落付いた夏子夫人

三菱造船所

主催

洲

放日

局社

総監が陳列されるさ

滿學生雄辯會

撮影

南親 こ兄弟

留雄は鐵道工事下請負人と

後の事は一切射然ゼロ問

手につかの有様で、崔敬延動するに三変造版所職工大繁建のは最早一概職工間に解けり仕事も

十五日斷行

藝妓の間に生れた見

日松本訓導) 教授網目に記て(伏見第一會田訓導) とし其他は随意と 秀品には賞品贈呈 では本月二十五日までに本社事業部宛申込の本出陳品には様式、製作費、維持費等簡のをの本組立際圏にもて取扱い業人向きのもの本以またも夜間なれば農園出来るもの▲製作費百圓以下

後援 一號地は資料感んなも

失戦のための賦世自続さ見られて 総果、生命は取りさめた、原西は いった。

南清學生雌総會では在海裏門學校 を大川聯合に來る二十三日午後一 を大川聯合に來る二十三日午後一 において第二十一回南端學生雌糕

眞

大連連鎖網店街常盤町

ヒグチスタヂオ

口伸町三六番地圖書交具店小松短去る一日午前四時中ごろ市内沙河去る一日午前四時中ごろ市内沙河

火災急報で賞與

晝夜

石炭ばかりは 不景氣で 例年通りに捌ける だが下級炭發賣で額は減少 それに野焼する許りで を高は非常に少くなってぬりなるに対しますが、二號塊・三號年だつて石炭の量は例年ご壁につて石炭の量は例年ご壁にからいる。 一部製けますが、二號塊・三號中にからいのですからいくら不景氣のですが、二號塊・三號 OX 號が

た三號塊炭を費出した、地 もだ、二號規院は全く多量の供給一程の途 引アムステレダムより歌地に 通3大西洋機動飛行の途次去。 午前十一時四十七分當地 た世界最大のドイツ飛行 フランスへ飛 た沙河口行三〇九號電車さ正面町 た沙河口行三〇九號電車さ正面町 自動車を避けんさらて電車線に人の途中、日吉町無知能に悪らか、 つたさころ後がより疾走らて來たったさころ後がより除宅

り金三国の策奥があつた

有内泉町十五番地高電車掌来競響たりの大事に至らす戦火せらめた

で除て火災早期数

粒三百メー

1

ル

| 選早と事務見、消防器に急報と 強堂こさ小松園吉芳より養火とた

日下随科醫院

大さ何處の家からも頭を出るたまが無くても確認の家からも頭を出るたまが無くても確認がなければ裏せない満洲の冬である?髪町の大連ない満洲の冬である?髪町の大連ない満洲の冬である。家庭用が市内谷家庭に出てゐる。家庭用は昨年度の一冬で於十四萬幅質

慶尙南道廳にて イドの標識 その筋には内膚してやるから食を脆にて響し臓器部が肥に連行。液のた上検を筋や腕打ら、悪に液のた上検を筋を腕打ら、悪に 波った上候を散々嗽打ら、原に候 郷大三番地候観散方にて候外敷名 の支那人が静康縣場中突然二名連 の変那人が静康縣場中突然二名連 れの怪機能入る場壁小洋約八個な 縛して强迫 賭場荒した上

五十五人、女子五人で受職地別に

れば大連三十七人、

旅順、大連、電天の三川に於て

檢定試驗

文部主任、其門學校入學資

下陸上聖月六年四和陽 リ朝ノ幸行版大 **更 天 賜** 所知疎島南阪大鉾

專門學校入學資格

鱈を放流

棲息狀態を調査

ヒレにセルロ

金牌受領 明治神宮領座十年記念のため當地 記念スタンプ捺數

片海博士推獎

無さいの 乗 要素を含む

卖十• 地五

含有の容化さ

だめて来るものが根筋多数に上つ がな満洲の各局へまで動念液形を 無性がたかまつて内地谷方面から 生態がたかまつて内地谷方面から あまず、アイタミンAB食有の管胚芽来わま園 製造元金元酒

成五八三二哩)は十五日午後三時 氏五八三二哩)は十五日午後三時 (大恋に即際、三山島神において指 他の遊渡中しきりに数助を求める がの遊渡中しきりに数助を求める がの遊渡中しきりに数助を求める がの遊波中しきりに数かを求める がで乗込中の支那人三名を数 は大盃山管内地で来吉所有維度た。 は大盃山管内地で来吉所有維度た。 は大盃山管内地で来吉所有維度た。 は大盃山管内地で来吉所有維度た。 はたる。 強 植血 純良無比の人参エキス 三根眼科醫院 K

十一月十五日・5十一日沙河口大正通り 月廿日き 2

料で致します料で致します 他に有りませうか!!! 2 力

學店

伊勢屋本店跡

料 品品 部

篇 江 社会式接 時雨蛤、 モズク、 部岡特進 迁利 食 小 チョロギ、 ワ粉 サワ ビサ 漬ピ

運動に「何よりグラコ」 (英養價) 電話六八一九番 聚大 · 京東 二 辻 利 茶 舖川

大連機 滕田筆訂店

责
作
販
责 批込の方に御渡し致します。 万 種:金五十円:五円掛十回日 種:金七十円:七円掛十回日種:金古 円:十円掛十回 印以上

相變 퉲

東京大 20

麓 東京風菓子謹製 界各國 酒 00

酒渍 深の集割がに機時もれ何 心酔 品氣・味香で品い 愉る順等分類の後煙・地 ってまりあで快 名意

ウィスキート ウィスキート ・ウィスキート ・グオフキング ・ラリッテー 物

8 本各 地內 王 珍

留富

能長以下十二名取締御の一部際がトラックで進行中航船より際落し中学郷村附近な五命職の一部際がト 不同社繪畵展 文化協会では十四日から三日 十四日から開催 十二名重輕傷

6日本書七點洋灣四十

松花四日結果

トラツ

并度

品規定

